

幼稚園・小学校・中学校・高等学校の造形教育における

系統性を踏まえた学習内容の一覧

第28回 四国造形教育研究大会徳島大会に向けて
～ ときめき つくりだし つなげていく、わたし ～



徳島県造形教育協会

目 次

1 本資料作成にあたって	-----	1
2 四国造形教育研究大会主題	-----	2 ~ 3
3 活動報告		
(1) 平面	-----	4 ~ 5
(2) 立体	-----	6 ~ 7
4 幼稚園造形的表現の系統表		
(1) 作成方針・テーマとのかかわり	-----	8
(2) 4歳児	-----	9 ~ 19
(3) 5歳児	-----	20 ~ 30
5 小学校図画工作科学習内容の系統表		
(1) 作成方針・テーマとのかかわり	-----	31
(2) A表現(1)造形遊び	-----	32 ~ 34
(3) A表現(2)絵や立体に表す	-----	35 ~ 37
(4) A表現(2)工作に表す	-----	38 ~ 40
(5) B鑑賞	-----	41 ~ 43
6 中学校美術科学習内容の系統表		
(1) 作成方針・テーマとのかかわり	-----	45
(2) A表現(1)(3)絵画・彫刻	-----	46 ~ 47
(3) A表現(2)(3)デザイン・工芸	-----	48 ~ 49
(4) B鑑賞	-----	50 ~ 51
7 高等学校芸術科(美術)学習内容の系統表		
(1) 作成方針・テーマとのかかわり	-----	53
(2) 絵画・彫刻	-----	54
(3) デザイン	-----	55
(4) 映像メディア	-----	56
(5) 鑑賞	-----	57
(6) 工芸	-----	58
8 幼小中高の目標と内容の一覧	-----	59
9 小中高の評価規準「創造的な技能」の一覧	-----	60

本資料作成にあたって

(1) 研究のあゆみ

2007年、8年前の四国造形教育研究大会徳島大会の折、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の表現・図画工作科・美術科に関わる者がともに研究を交流させ、資料「系統性を踏まえた学習内容の一覧表」の作成を行い、ひとまずその成果を得た。

資料作成のきっかけは、二つある。一つ目の理由は、園・校種を超えて保育や授業実践を交流する中で、扱う題材が重複したり、上学年が下学年より学習内容が少なかったりしてねじれた現象が起こっていることに気付いたからである。もう一つの理由は、美術を学ぶ授業時間が削減される中で、既習の学習によって身に付けた力をより効果的に学習できるカリキュラムを編成する必要性を実感したからである。

一人の子どもが成長する過程において、多くの教員がかかわり、それぞれの方針で指導を展開するが、子どもにとっては、図画工作・美術科は一つの連続した教科であることを再認識したのもこのときであった。これまで実践してきた指導計画や指導内容を吟味・精選したり、関連づけ発展させたりしながら、「表現・図画工作科・美術科を通してどのような力を育てたいのか」をじっくりと考える契機となった。

(2) 本資料作成方針

本大会では「ときめき つくりだし つなげていく、わたし」を大会テーマに掲げ、これからの造形教育のあり方を解明していく。造形教育を考えるにあたって、幼稚園・小学校・中学校・高等学校間で連携を図ることが重要であった。本大会の研究推進部は、各園、学校の実践者の協力を得て、学習内容の系統性を考えながら研究協議を重ねてきた。学年が進む中で深まる内容を押さえつつ、その学年段階で大切にしたい造形体験や材料体験、その時期でないとないものの見方や感じ方、発想の内容などについて共通理解し、系統性を踏まえたこの指導計画を研究・作成することに取りかかった。

私たちは相互理解を深め、子どもたち一人一人の思いや願い、意図を実現するための資質や能力として示された4観点「関心・意欲・態度」「発想や構想の能力」「創造的な技能」「鑑賞の能力」の中で、「創造的な技能」に着目して整理することにした。基礎的な技能の習得実態をとらえ身に付けさせることによって、他の3観点の能力も触発・促進され高めていくことができると考え、「創造的な技能」の観点に焦点を当てたのである。

研究を進める中で、幼稚園から小学校へ、小学校低・中学年から高学年へ、高学年から中学校、中学校から高等学校へと徐々につながりが意識されていった。また、単に羅列的な学習計画にならないよう、基礎・基本の習得を明確にしながら、表現と鑑賞の指導の構造化も図ることに努め、幼稚園期に身に付けさせておきたいこと、小学校期で身に付けさせておきたいこと等、発達段階に応じたそれぞれの学年や時期に指導すべき内容を明確に示すことができたと思う。

こうして幼稚園2年間、小学校6年間、中学校3年間、高等学校3年間計14年を見通した題材の流れが、一望できる資料が完成した。この資料は、各担当者が年間指導計画を作成する際、該当学年前の既習の内容を確認したり、該当学年後の学習のつながりを確認するのに役立つようになっていく。さらに言う、幼稚園児の指導をしながら数年後の成長を見据える等の見通しをもった指導が意識できるようになっているのである。

今後は、各教室での学習指導方法を改善していくよう県下すべての幼稚園や学校へ周知し、これをもとに、自校の地域の特性、実態等を考慮して、学習指導の年間指導計画を作成するよう啓発していく。その後、さらに改善点の洗い出しを進めよりよいものにしたいと考えている。

(3) 活用にあたって

表現・図画工作科・美術科の学びの本質は単元や題材などによって細かく分断された学習内容そのものにあるのではない。学習したことが他の学習へと発展したり、学んだ知識・技能や体験が関連づけられたりすることによって、より先を生きる知恵となったり生活の中で美的に生かされたりするところにあると考える。私たち指導者もその学びの過程を子どもたちとともに味わい、十分に楽しみたいものである。

この研究に関わる教員の間に研究内容だけでなく、仲間意識が深まり、人的ネットワークも広がっていった。これも本県の造形教育を進めていく上で、大きな収穫である。

本資料は、次の事項からまとめた。

- ① 学習指導要領に見る系統性
- ② 園・校種ごとの「創造的な技能」育成の側面からとらえた学習内容の系統性

本資料が、皆様の学習指導の一助になれば幸いである。

大会主題 「ときめき つくりだし つなげていく , 私」

徳島県造形教育協会 研究推進部

1 造形活動の現状と課題

夢中で取り組んでいる真剣なまなざし、自分の表現に納得いかずに悩んでいる姿、試行錯誤の末にひらめいた瞬間、できあがった作品を友達に誇らしげに見せながら説明している笑顔など、造形活動に取り組む子どもは生き生きとした姿を私たちにを見せてくれる。造形活動は、子ども一人ひとりの感性を輝かせ、自己表現の喜びを実感させ、子どもにすることが楽しくてたまらないと感じさせられる活動である。ところが、現在の子どもの取り巻く環境の中には、インターネットでの瞬時の情報入手、バーチャル体験、相手の顔を見ずしてのネット上でのコミュニケーションなど、人間関係や実体験が希薄な状況もみられる。それは、都市部のみならず、地方においても同様で、豊かな環境があるにもかかわらず、自然体験や日常の遊びの中から、学ぶこと、紆余曲折してつくりあげる体験が減っている。五感を働かせ、行きつ戻りつしながら、自分の目的に対して、意図をもって表現する経験が重視されるべきではないだろうか。

そこで、子どもが生活を通じて社会とつながり合う中で、自分の感じたことや考えたこと、心情・想像などを形や色・材料などを用いて、試行錯誤しながら、誰のものでもない自分だけのものをつくりだすことを実感させたい。それは、作品が暮らしや社会の中で役立ち、表現する喜びを感じ、自己の存在意義を確認することでもある。このような子どもの姿を目指して、「ときめき つくりだし つなげていく, 私」をテーマとして研究を進めてきた。

2 子どもの主体的な造形活動を目指して

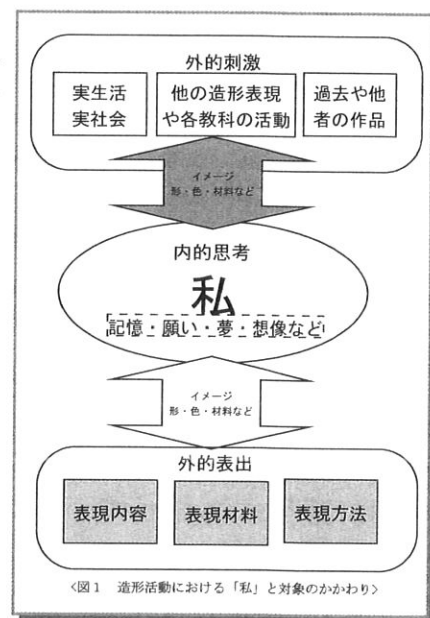
(1) 感性を育む体験 ～ときめく体験～

「経験なきところからは想像は生まれてこない。想像力の源泉は豊かな経験である」と言われる。子どもは、様々な体験を積み重ねながら感性を育んでいく。TVやPCのような人がつくった道具を用いて、情報を一方向から、ただ受動的に入手するだけでは「人・環境・事柄」などへの実感はわきにくい。様々な「ひと・もの・こと」とつながり、働きかけ・働きかけられながら相互のかかわりの中で自らの感性が磨かれていく。

子どもは、* (1) 実生活・実社会、他の造形表現や各教科の活動等の既習学習、自分が過去につくった作品・他者の作品など(外的刺激)の経験から、* (2) 自己の記憶・願い・夢・想像などを生みだし、そこから自分の新しいイメージを膨らませて(内的思考)、表現内容を明確にしていくことができる。その際に、* (3) 「表現内容(何を)」, 「表現材料(何で)」, 「表現方法(どのように)」などを工夫して、造形表現(外的表出)を行う。子どもが表現する時、自己の経験を基盤とするため、様々な対象とのつながり、経験値が発想の幅を広げていく。また、自分の体全体を使ったり、五感を働かせたりして主体的につながり、体験することで知恵や技能が身に付き、本来、内在している能力をも引き起こされる。発想や構想は、幼・小・中・高と発達段階に応じて感覚・知的体験が積み重ねられることによって広がり、子どもの感性を豊かにし、思考力・判断力・表現力なども深化させていく。

〈注釈〉

- (1)外的刺激・・・実生活・実社会、他の造形表現や各教科の活動等の既習学習、自分が過去につくった作品・他者の作品などの経験など、自己の外からの刺激のこと
- (2)内的思考・・・外的な刺激を受けることで、自己の記憶、願い、夢、想像などを生みだし、そこから自分の新しいイメージを膨らませて自己内での思考のこと



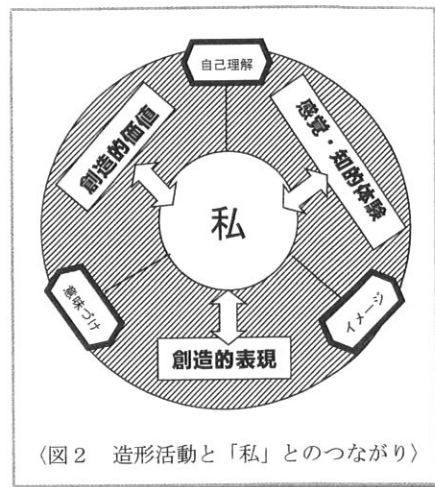
〈図1 造形活動における「私」と対象のかかわり〉

(2) 創造的価値をつくりだす活動 ～私だけの表現～

子どもが能動的・主体的に取り組むとは、その活動に熱中することである。子どもを熱中させるためには、題材が子どもにとって魅力的であるとともに、子ども自身の目標・目的を見い出させること(表現内容)、素材の性質や特徴を生かさせること(表現材料)、形や色、光などの性質や効果を理解し、表現を具現化するための用具や技法など、基本的な知識・技能を習得させること(表現方法)が必要であろう。つまり、「表現内容」・「表現材料」・「表現方法」の基礎・基本を習得させ、活用する能力を培っていくことである。

子どもは題材に対して、経験をもとにイメージを構築するとともに、表現意図に応じて、「表現内容」・「表現材料」・「表現方法」を、どのように生かしていくのかを判断し、選択しながらも絶えず見直し、工夫修正していく。その際、自由に表現できる知識や技能が備わっていれば、試行錯誤し、追求しようとする能動的・主体的な表現活動となる。当初の着想・発想・構想から再考・熟考され、繰り返し練り上げていった結果、作品が変容し、具現化される。そして、自分自身のこだわりのある「私だけの表現」ができたとき、子どもはつくりだす喜びを味わい、「もっとやりたい」という意欲が湧きおこり、さらに熱中できるのである。

幼稚園・小学校において身に付けてきた形や色・材料などの特徴把握や造形感覚、中学校や高校での生活や環境の中の美術の働きを理解する知的学習は、自分の気持ちや伝えたい内容などの*(4)形や色・材料などを生かして、他者や社会にかかわり生かせる表現力(ビジュアル・コミュニケーション能力)として重要視されている。子どもは苦労して納得のいく作品をつくりだしたとき、達成感や充実感を味わうが、「私だけの表現」としてつくる喜びを実感するのは、題材から本当の自分自身の主題を見つけ、ビジュアル言語を活用し、自分がつくりだした作品の中によさや美しさを見いだしたときであろう。また、友達や作家など他者の作品について、その作品の中によさや美しさ、作者の思いや考えなどの内面に共感できたときでもであろう。子どもが、表現や鑑賞の活動に自己内対話しながら作品への自分の意味づけができたとき、「自己を確認し、他者を理解する」活動へと発展させることができるのではないだろうか。



〈図2 造形活動と「私」とのつながり〉

(3) 生活や社会とかかわっていく造形活動 ～つなげていく力～

子どもは、生活や社会の中の自らを取り巻く環境や事象、実体験でのつながりを通して知識や技能を身に付けていくとともに、感性を高めていく。このような体験・経験を基盤としながら、造形活動において自らの思いや願い、考えを「表現内容」「表現材料」「表現方法」とのかかわりによって表出し、豊かな創造性を培っていくのである。幼児期は、自分の感じたことや考えたことをストレートに表現するが、児童期では意図をもって自分の表現を行おうとするようになる。また、思春期では様々な表現活動を通して自己を確認したり、生活や社会の中での作品の役割や心情を汲み取り、自分なりの価値意識を構築することができるようになる。青年期では、自己の存在を深く見詰め、文化の価値を認識し、創造・継承することにも目を向けるようになる。つまり、生活や身近な地域からわが国や諸外国の美術文化の特徴やよさを感じ味わうとともに幅広く理解することから次世代へと継承していくとともに、生涯にわたり美術を愛好する心情や態度の育成へと発展させていく。

造形活動が、子どもたちにとって、幼・小・中・高それぞれの発達段階に応じて系統的な学びとなり、自らが主体的に「ひと・もの・こと」とつながりを持ち、自らを創り、自らの未来へとつなげていく活動となることを期待する。

〈注釈〉

(3)外的表出・・・造形活動において、表現内容(何を)、表現材料(何で)、表現方法(どのように)などを思考、工夫して、自分の外に表現すること

(4)ビジュアル・コミュニケーション能力・・・形や色・材料などを生かして、他者や社会に伝達したり、交流したり、発表したりして表現する力のこと

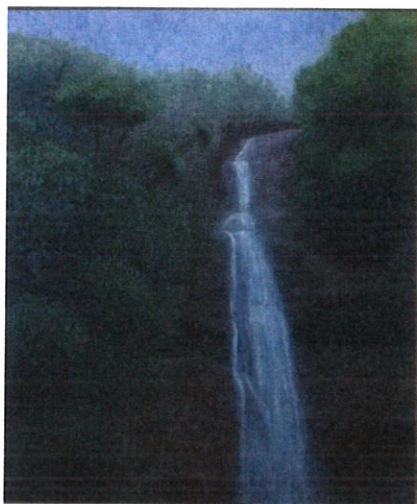
見たことを基に感じ取って描く活動



幼稚園「大玉ころがし」



小学校低学年「ザリガニつり」



高校「鳴滝」



小学校中学年「がんばった水泳」



小学校高学年「土柱」



中学校「大樹」



中学校「おばあちゃんの初夏」

想像したことを基に描く活動



幼稚園「おおかみと7ひきのこやぎ」



小学校低学年「うちゅうせん未来号」



高校「白クマの親子」



小学校中学年
「星どろぼうになって」



中学校「かけがえのないもの」

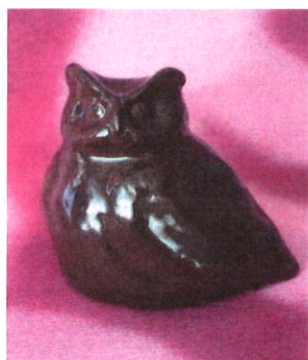


小学校高学年
「銀河鉄道之夜」

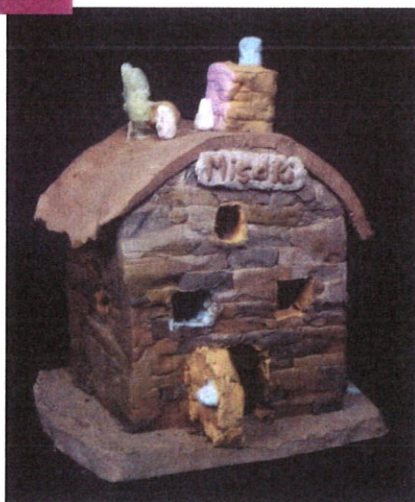
かたまりでつくる活動



高校「不動」塑造 石膏取り後着色



中学校「ふくろう」



小学校「ブロック積み」



幼稚園「ゆきだるま」



小学校低学年「マーブルス」



小学校中学年「野焼き」



紙を素材にしてつくる活動



幼稚園「おひなさま」



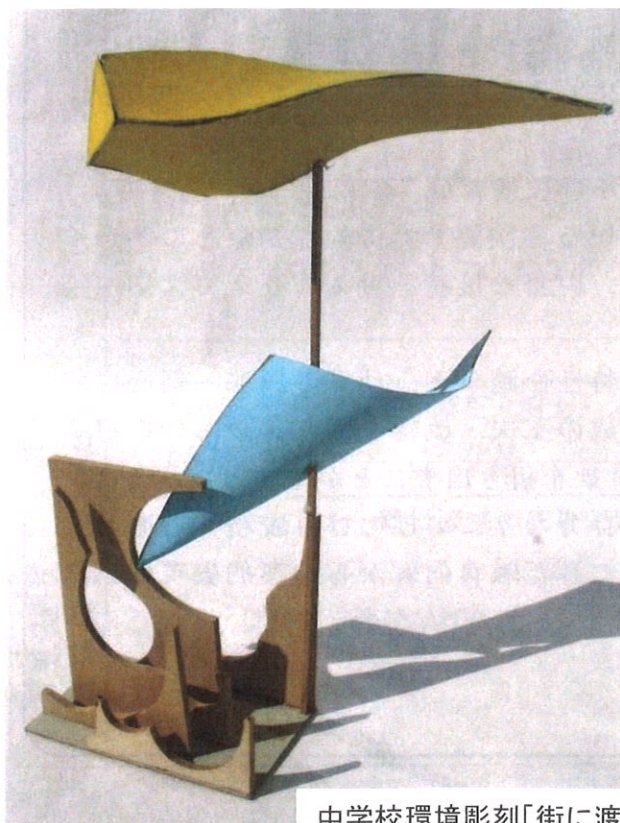
高校「張り子によるかぶりもの」



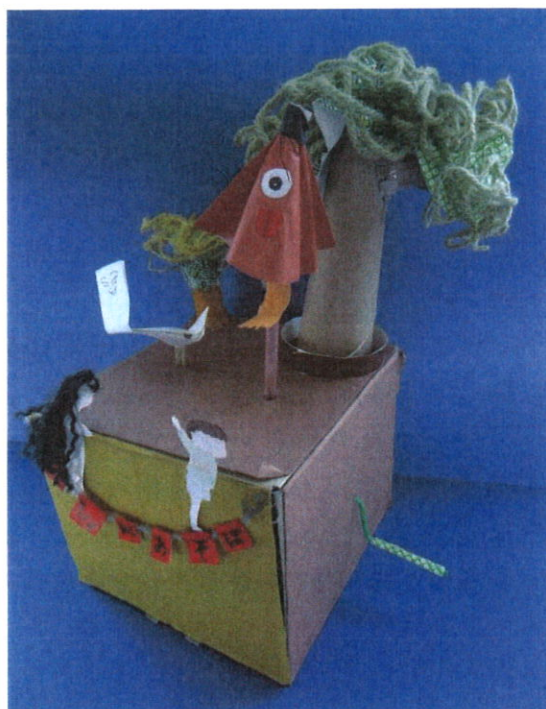
小学校低学年「ひらひらコロコロ」



小学校中学年「にらめっこBOX」



中学校環境彫刻「街に渡る風と光と」



小学校高学年「くるくるクランク」

幼稚園造形的表現の系統表

〔幼稚園部会テーマ〕

「出会い かかわり とともに楽しむ」

○幼稚園のテーマについて

幼児の表現活動は、遊びの中で豊かになっていく。形となって表現されたものには、幼児が何と出会い、どのようにかかわり楽しんだか、その子どもの心の動きやその子だからこそその表現がある。その過程やその子らしさを大切にしながら、共に表現する楽しさを味わうことができるようにと願っている。

そのためには、表現力の芽生えが小学校以降の遊びや生活の基盤となることを踏まえ、幼児期だからこそできる表現内容や表現方法、豊かな素材体験を幼稚園での生活や遊びの中に織り込み、表現する力を育てていきたいと考える。

○幼稚園の造形的表現における年間計画作成について

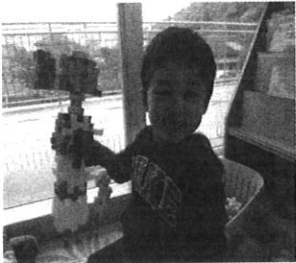
幼、小、中、高で連携し、共通理解を図りながら、年齢や各学年で大切にしたい造形的表現のねらいや内容を明確にし、系統性を踏まえた指導計画を作成することになった。

幼児期の教育が「遊びの中での学び」、小学校教育が「各教科における学び」となるが、「人」「もの」とのかかわりという直接的・具体的な対象とのかかわりの中で行われるという共通点をもち、円滑な接続を考えるうえで大切な視点となる。

そこで、幼稚園では、幼児期の発達の特徴を踏まえ、幼児の興味・関心に即した活動の充実や、そのための環境構成の工夫・改善を図り、教師の指導・援助で自分の思いを表現したいという意欲を引き出すことが重要とされる。

また、豊かな環境にかかわることで、自分なりにのびのびと表現する楽しさを味わうことができると考え、実践してきた教育内容から造形的表現活動を選択し、年間計画を作成した。

幼稚園 「造形的表現」の系統性

	4月 (4歳児)	
月のねらい	○ 教師や友達に親しみ、喜んで登園する。 ○ 自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。	
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	
造形的表現にかかわるねらい	○ 教師や友達と一緒に身近な春の自然に触れ、親しみをもつ。 ○ 新しい素材や用具に触れ、使おうとする。	
幼児の姿	『草花で遊ぶ』(1) ・花壇のパンジーやチューリップなどの花を見たり、花びらを集めたりして遊ぶ。 ・草花や花びらをごちそうにしたり、飾ったりする。	『粘土で遊ぶ』(2) ・ちぎったり、丸めたりしながら粘土の感触を味わったり、粘土板を使っているいろいろな型押しを楽しんだりする。 ・切る、形をつける、穴をあけるなど、粘土べらの扱いにも少しずつ慣れていく。 ・つくったものを友達や教師に見てもらうことを喜ぶ。
	 	 『ブロックで遊ぶ』(2) ・家庭や保育所で遊び慣れたブロックで遊ぶことで気持ちが落ち着く。 ・いろいろな色や形・大きさのブロックで、怪獣や乗り物など自分の好きなものをつくって遊ぶ。
	『広告や紙で遊ぶ』(3) ・広告や紙を、折ったり切り抜いたりして遊ぶ。 ・身近な素材を使うことで、安心して遊ぶ。	
素材・用具	・セロハンテープ・春の草花・粘土・ブロック・広告・色紙・画用紙 ・はさみ・のり・パス など	
教師の援助環境構成	○ 教師や友達と一緒に園庭の草花や雑草などを見たり摘んだりすることで、新しい環境の中で少しずつ安定できるように援助する。 ○ 身近な素材や遊びなれたブロックなどを、使いやすい場所や目につく場所に用意しておく。	

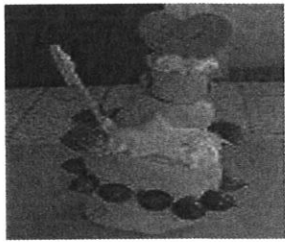
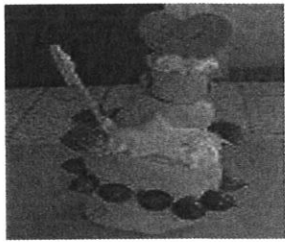
5月 (4歳児)	
月のねらい	○ 自分の好きな遊びを見つけて楽しんだり、教師や友達に親しみをもって遊んだりする。 ○ 園生活の仕方が分かり、自分のことは自分でしようとする。
領域 「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 友達や年長児、教師のしていることに関心をもち、見たり真似たりしようとする。 ○ 身近な生きものを見つけたり触れたりして遊ぶ楽しさを味わう。
幼児の姿	『だんご虫に触れて遊ぶ』(2) ・ダンゴムシに触れながら、形や色・動きなどのおもしろさや不思議さに気づき、友達に知らせたり、絵に描いたりする。  『積み木で遊ぶ』(2)(3) ・自分の思いを教師や友達に伝えながら遊び、高く積んだり、並べたりしながら家や乗り物をつくる。 ・正方形・長方形・三角形を組み合わせながら、イメージを広げていく。  『砂や水で遊ぶ』(2)) ・砂や水への興味が高まり、年長児の遊びを真似て、山をつくったり、穴を掘ったりして遊ぶ。 ・スコップ・ふるい・型抜き・トレーなどを使って遊ぶことで、砂の性質を知る。  『新聞や広告で遊ぶ』(2)(3) ・新聞や広告など身近な紙を使って、遊びに必要なものを友達と一緒につくる。 ・指先を使って、紙を破ったり、ちぎったり、セロテープで貼り付けたりして思う存分遊ぶ。 
用具・素材	・画用紙・色紙・スズランテープ・紙テープ・ボール紙 ・セロファンテープ・新聞紙・粘土・水・積み木 ・はさみ・のり・絵の具・パス・水性/油性ペン など
教師の援助環境構成	○ 幼児が使いやすい素材や用具を準備し、幼児のイメージに合わせて教師も一緒につくるようにする。 ○ 教師も身近な生きものに親しみ、幼児と一緒に触れたり動きに関心をもったりしてかかわる。

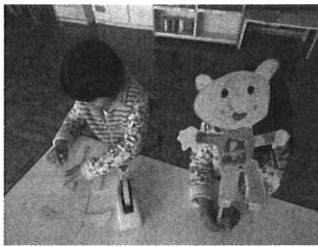
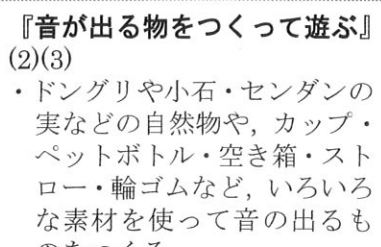
	6 月 （ 4 歳児 ）
月のねらい	○ 好きな遊びの中で友達と触れ合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 梅雨期の自然や身近な動植物に、興味をもってかかわる。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ いろいろな素材や用具があることを知り、使って遊ぶことを楽しむ。 ○ 素材と十分にかかわり、おもしろさや不思議さを感じる。
幼児の姿	『シャボン玉遊び』(1)(2) ・ストローから吹き出すシャボン玉のおもしろさを感じ、何度も試して遊ぶ。 ・息を調節して大きなシャボン玉をつくったり、色の変化や風に乗って飛んでいく様子を見たりして楽しむ。   『小麦粉粘土遊び』(2) ・「べちゃべちゃ」「にゆるにゆる」など、粉と水の割合で次々と変化する感触を、小麦粉粘土づくりの過程を通して楽しむ。 ・香りや手触りのやさしさを味わいながら、こねたり切ったりする。 『ごっこ遊び』(2)(3) ・積み木を組み合わせることで広がってくるイメージを動きや言葉で表現したり、友達と共有したりしながら遊ぶ。 ・生活経験や、年長児の遊びの模倣から、遊びに必要なものをつくる。  『色水遊び』(1) ・ユスラウメやヤマモモなどの実を使つての色水をつくる。 ・きれいな色や、甘酸っぱい香りを楽しむ。 
用具・素材	・ペットボトル・色紙・色画用紙・ビニールテープ・空き箱 ・シャボン玉液・ストロー・カップ・小麦粉・ソフト積み木 ・パス・水性マジック・はさみ・すりばち・すりこぎ・じょうご など
教師の援助環境構成	○ 年長児や友達のしていることに興味をもち、自分なりのかかわりが十分できるような場や素材を整えておく。 ○ 幼児がイメージしていることを受け止め、必要な素材や方法を一緒に考えたり、つくったりする。

	7月 (4歳児)
月のねらい	○ いろいろな水遊びを通して、水の感触を楽しみ、解放感を味わう。 ○ 遊びの中で自分の思いを友達に伝えようとする。 ○ いろいろな遊びに興味をもって、自分なりにかかわって遊ぶ。
「表現」の領域 ねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現に かかわる ねらい	○ 水にかかわって遊びながら、自分なりに試してみようとする。 ○ いろいろな素材を使って、表現することを楽しむ。 ○ 身近な自然物に興味をもってかかわり、取り入れて遊ぶ楽しさを味わう。
幼児の姿	『色水遊び』(1)(2) ・サルビア、アサガオ、オシロイバナなどの花びらを、指先やすり棒ですりつぶしたり、水と混ぜたりしながらいろいろな色水づくりを楽しむ。 ・色水をつくるために、花の色を選んだり、水の量を変えたりする。  『笹飾りをつくる』(1)(3) ・七夕の笹飾りづくりを通して、いろいろな素材を使い、折り方やつくり方などさまざまな方法でつくることを知る。 ・はさみやのりの扱いにも慣れ、素材を切ったり、指先でのりづけができるようになったりする。  『野菜のスタンプで遊ぶ』(1)(3) ・いろいろな野菜のスタンプを楽しみながら、野菜の形や切り口に興味関心をもつ。 ・スタンプでできた模様のおもしろさを感じ、繰り返し楽しむ。   『お店ごっこ』(3) ・夏祭りや、地域の行事を経験したことをもとに、かき氷や焼きそばなどをつくって遊ぶ。 ・品物をつくるのに必要な材料を選んでつくったり、自分のつくった物を友達に見せたりする。
素材・用具	・ペットボトル・空き容器・障子紙・画用紙・色紙 ・スズランテープ・夏野菜 ・水性/油性ペン・絵の具・はさみ・のり・すり棒 など
教師の援助環境構成	○ 野菜や果物など自然物を利用できるような環境を整え、繰り返し遊びが楽しめるようにする。 ○ 必要に応じて教師がつくって見せたり伝えたりして、新しい方法を知らせていく。

	9月（4歳児）
月のねらい	○ 教師や友達と遊びながら、園生活のリズムや友達関係を取り戻していく。 ○ 友達と一緒に、十分体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 自然に触れて遊び、夏野菜や草花の変化に気づく。
領域 「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 楽しかった経験を自分なりに表現しようとする。 ○ 身近な素材や用具を使って、遊べるものやプレゼントをつくる。 ○ 身近な植物の変化に気づき、興味をもってかかわる。
幼児の姿	『種取りをして遊ぶ』(1) ・アサガオ、ヒマワリ、ハウセンカ、フウセンカズラなどいろいろな花の種取をする。夏に咲いていた花から種が取れるまでの成長や生命を感じ、自然の不思議さに興味関心をもつ。その中で、自然物のさまざまな形や模様のおもしろさに気づく。 ・花が終わった後には種ができることを知り、形や模様のおもしろさを感じながら集めたり並べたりする。  『色紙や広告を使って遊ぶ』(3) ・色紙や広告で、飛行機や虫・動物などをつくって、遊んだり壁面に飾ったりする。  『敬老の日のプレゼント』(2)(3) ・祖父母の顔を描いたり、ペンダントや写真立てなどをつくったりする。 ・素材に合わせて、のりやセロハンテープ・ボンドなどを使う。   『運動会の経験を表現する』(2)(3) ・運動会で頑張ろうとする気持ちをこめて、国旗や模様の旗をつくり楽しみに待つ。 ・運動会を経験して楽しかったことやがんばったこと、印象に残ったことを絵で表現する。
素材・用具	・葉書・紙皿・色紙・色画用紙・アサガオやヒマワリなどの花 ・水性/油性ペン・鉛筆・色鉛筆・パス・絵の具・はさみ・のり など
教師の援助環境構成	○ 幼児がおもしろいと感じていることや、不思議に思っていることなどを教師が言葉で表現しながらかかわることで、より一層興味をもてるようにする。 ○ 楽しい気持ちで伸び伸びと描いたりつくったりできるよう、その子なりの表現を認めていく。 ○ 年長児の作品に刺激を受けて、自分たちもつくってみようという意欲がもてるようにかかわる。

	10月 (4歳児)
月のねらい	○ いろいろな遊びを楽しむなかで、友達とかかわって遊ぶ。 ○ 友達と一緒に体を動かして遊ぶおもしろさや心地よさを味わう。 ○ 秋の自然に興味をもってかかわり楽しむ。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 友達と遊びのイメージを共有しながら表現することを楽しむ。 ○ 秋の自然に触れ、興味をもって見たり、いろいろな表現を楽しんだりする。
幼児の姿	 『いもほりの経験から』(1)(3) ・ ツルについたいもの様子や、掘り出したいものの色や形のおもしろさを感じ、クレパス・絵の具・コンテなどいろいろな用具を使って絵に描いて表現する。 ・ 広告・新聞紙など身近な素材を使って、小ささまざまな大きさのいもを立体的に表現する。  『ごっこ遊び』(2)(3) ・ 秋祭りで友達と共通の経験をしたことで、御神輿や太鼓に関心を示し、段ボール箱を太鼓や御神輿に見立てて担いだり叩いたりして遊ぶ。 『自然物を使って遊ぶ』(1)(2) ・ 木の実を使って、形づくったり、アクセサリーをつくったりして遊ぶ。 ・ 自分のイメージに合わせて、砂でつくったケーキやプリンなどに木の実や小枝を飾って楽しむ。 ・ どんぐりを使って、音の出るものをつくったり、ゲームをつくったりなど、いろいろな遊び方を楽しむ。 
用具・素材	・ ガムテープ・画用紙・色紙・新聞紙・ボール紙 ・ 段ボール箱・包装紙・空き容器・落ち葉・木の実・粘土・積み木 ・ 絵の具・パス・接着剤・コンテ・はさみ・のり など
環境構成 教師の援助	○ 遊びに必要なものや自分のイメージしたものがつくれるように、落ち葉や木の実などの自然物を幼児とともに集めたり分類したりする。 ○ 幼児のイメージを大切にしながら、扱いにくい素材を適当な大きさにしたり、新しい用具の使い方を知らせたりして、安心して表現できるようにする。 ○ 地域の公園や神社など秋の自然に触れられる場所を把握し、園外保育に取り入れていく。

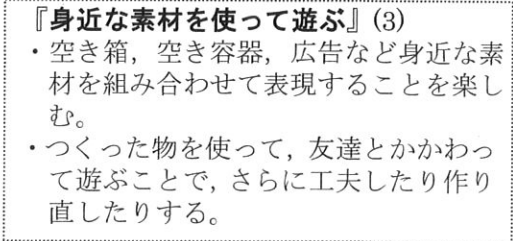
	11月（4歳児）
月のねらい	○ 感じたことや考えたことを、言葉で伝え合いながら友達と一緒に遊ぶ。 ○ 身近な秋の自然に触れ、季節の移り変わりを感じたり、自分たちの遊びに取り入れたりして楽しむ。
「表現」の領域 ねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現に かかわる ねらい	○ 身近な素材を使って、自分なりにつくり方を工夫して表現しようとする。 ○ 身近な自然物にかかわりながら、美しさに気づいたり遊びに取り入れたりして楽しむ。
幼児の姿	『木の実で遊ぶ』（1）（2） ・ ドングリやマツボックリ、ノグルミの実などいろいろな種類の木の実と、空き箱や牛乳パックなどの素材と組み合わせ、イメージしたものをつくる。  『落ち葉で遊ぶ』（1）（2） ・ 銀杏・紅葉・桜など、いろいろな色や形の葉っぱでアクセサリーや花束をつくったり、貼り付けて飾ったりなどして遊ぶ。   『ごっこ遊び』（2）（3） ・ 積み木や段ボールなどを使って、家・店・乗り物など目的に合わせた場づくりをする。 ・ 紙皿・紙コップ・スチロール皿など身近な素材で、品物やチケットなど遊びに必要なものをつくる。  『紙粘土で遊ぶ』（2）（3） ・ 紙粘土の感触を楽しみながらスイーツをつくり、ドングリやビーズ・ドライフラワーなどで飾る。 
素材 用具・	・ 牛乳パック・空き箱・広告・紙皿・紙コップ・紙粘土・発泡スチロールトレイ ・ ドライフラワー・毛糸・ストロー・ビーズ・スズランテープ・リボン・ ・ ドングリ・マツボックリ・ジュズダマ・ノグルミの実・落ち葉・ボンド など
教師の援助 環境構成	○ 楽しい行事の準備にも、幼児ができること・したくなることを組み入れ、自分たちで遊びを進める楽しさが味わえるようにする。 ○ 年長児の遊びに刺激を受けやってみようとする姿を見守ったり、年長児に教えてもらったりしながら表現の幅を広げていく。 ○ 木の実や落ち葉の美しい色やおもしろい形を生かした遊びが楽しめるように、いろいろな自然物や素材を準備しておく。

	12月 (4歳児)
月のねらい	○ 自分の思いや考えを伝えたり、友達の思いを受け止めたりしながら遊びを楽しむ。 ○ 寒さに負けず、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 冬の自然や生活に興味や関心をもつ。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 気の合う友達とイメージを出し合いながら遊ぶ中で友達の考えに気づき、自分も取り入れてみようとする。 ○ 身近な材料や素材にかかわる中で性質に気づき、自分なりに工夫して使おうとする。を味わう。
幼児の姿	『お話遊び』(2)(3) ・ サンタさんへの願いごとを絵に描いたり、親しみのあるお話の場面や登場人物を描いてペープサートにしたりするなどして、お話遊びを楽しむ。  『セロファンで遊ぶ』(1)(3) ・ セロファンを通して見ると、景色に色がついて見える不思議さやおもしろさを感じ、また、重ねることによって色に変化することに気づき、様々な色を重ねて遊ぶ。 ・ セロファンを窓に貼り、光が当たったときの床に映る色や形を美しいと感じたり、時間により、映る場所や形が変化することに気づいたりする。  『音がなる物をつくって遊ぶ』(2)(3) ・ ドングリや小石・セリシバの実などの自然物や、カップ・ペットボトル・空き箱・ストロー・輪ゴムなど、いろいろな素材を使って音の出るものをつくる。 ・ 素材によって音が違うことに気づき、友達と音を比べて楽しむ。 ・ つくったものに、ビニールテープやマジックなどで模様をつけ、曲に合わせて友達と一緒に鳴らすことを喜ぶ。   『自然物を使ったリース作り』(2)(3) ・ アサガオ、フウセンカズラ、さつまいもなどのつるでできたリースに、ボンドを使ってドングリやマツボックリなどの自然物を飾る。 ・ リボンやモールなども巻きつけ、よりきれいなリースをつくろうとする。 
用具・素材	・ セロファン・カップ・ペットボトル・空き箱・ドングリ・マツボックリ・小石・色紙 ・ ネコジャラシ・アサガオやフウセンカズラのつる・スズランテープ・リボン ・ ビニールテープ・モール・輪ゴム・はさみ・のり・水性/油性ペン・パス など
教師の援助環境構成	○ 遊びの中で、工夫しているところを認め、難しいところは手伝ったり方法を提案したりしながら、できあがった喜びが味わえるようにする。 ○ 新しく出会った道具も自分なりに試し、考えて使えるよう援助の仕方や材料、環境や雰囲気づくりなど様々な工夫をすることによって、幼児の発見や気づきに共感しやってみたいという興味や意欲を引き出していく。

	1月（4歳児）
月のねらい	○ 戸外で、元気に体を動かしたり、ルールのある遊びを楽しんだりする。 ○ お正月の遊びなどを楽しみながら、友達とのかかわりを深める。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かに、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 友達とイメージを出し合いながら、お話遊びを進めていく。 ○ お正月の遊びに興味関心をもち、描いたりつくったりして友達と一緒に楽しむ。
幼児の姿	『ビニール凧をつくって遊ぶ』(1)(2) ・ビニール袋が風を受けて舞い上がることから、ひもをつけて凧に見立てて遊ぶ。 ・袋に模様を描いてきれいにしたり、足をつけてよくなびくように工夫したりする。 『お話のごっこ遊び』(2)(3) ・よく知っているお話のごっこ遊びを楽しみながら、遊びに必要なお面や衣装・持ち物などをつくり、登場人物になりきってやりとりをする。    『こまで遊ぶ』(1)(3) ・マジックやペンでこまに模様を描いたり、色を塗ったりする。 ・色の塗り方や回る速度によって変化する不思議さや、おもしろさに興味をもち、友達と比べながらこま回しを楽しむ。
用具・素材	・ガムテープ・画用紙・色紙・スズランテープ ・紙テープ・ボール紙・新聞紙・ビニール袋・布・フェルト・カルタ・こま ・絵の具・水性/油性ペン・パス・色鉛筆・はさみ・のり など
環境構成 教師の援助	○ 凧揚げやこま回しなどで年長児や友達の遊んでいる様子を伝えたり、教師も一緒に遊んだりすることで関心を高めていくようにする。 ○ 幼児の発想を大切にしながら、遊びに必要なものがつくれるよう素材や用具を用意しておく。

	2月 (4歳児)
月のねらい	○ 目的に向かって友達と一緒に感じたことやイメージしたことをいろいろな方法で表現して楽しむ。 ○ 冬の自然に触れ、不思議さや美しさなどを感じ、興味をもつ。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 友達と一緒に共通の目的をもって遊ぶ中で、自分なりのイメージを伝えたり必要なものをつくったりする。 ○ 雪や氷に触れて遊び、肌で感じたりその感触を楽しんだりする。
幼児の姿	『冬の自然に触れて遊ぶ』(1)(2) ・見つけた氷や霜に触れ、その冷たさや美しさ・不思議さを感じる。 ・冷たさを我慢して氷を持とうとしたり、透かしてみたりして遊ぶ。     『生活発表会に使うものをつくる』(1)(2) ・生活発表会で衣装や小道具に、自分で模様を描いたり、ボタンや飾りを貼ったりする。 『豆まきをして遊ぶ』(3) ・教師と一緒に読んだ絵本を通して、節分の行事を知り、広告・新聞紙・画用紙・紙袋・紙テープなどの素材を使って、鬼の面や豆をつくり、豆まきをして遊ぶ。
素材・用具	・カラーポリ袋・不織布・フラワー紙・段ボール・広告・ボタン・新聞紙 ・画用紙・紙テープ・紙袋・毛糸・ガムテープ・油性マジック・ガムテープ など
教師の援助環境構成	○ 目的に向かって話し合いながら準備を進めていく中で、幼児のつくりたい気持ちやその子らしい表現を認めながら、自信につなげていく。 ○ 霜や雪などを見つけたときの驚きや感動を大切に受け止め、自然の不思議さを感じられるようにする。

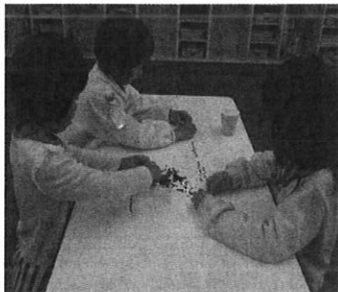
3月（4歳児）	
月のねらい	○ 自分の思いを出したり、友だちの思いを受け入れたりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 年長組になることを期待し、自信をもって行動しようとする。 ○ 身近な自然の変化に気づき、春の訪れを感じる。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 学級や学年の活動に取り組む中で、描いたりつくったりすることを楽しむ。 ○ 親しみのある素材に十分かわり、イメージを膨らませ工夫しながらつくる。
幼児の姿	『雛祭り』(2)(3) ・ 雛人形が飾られていたり、歌を歌ったりすることで、雛祭りの日が近づいたことを知る。 ・ 空き箱・色紙・画用紙・布などを使って、自分なりにお雛様をつくる。  『お別れ会』(1)(3) ・ 一緒に遊んでもらった年長児に、お礼の気持ちを伝えるために、アイロンビーズ・プラ板・牛乳パック・紙粘土などで、コースター・キーホルダー・鉛筆立てなどのプレゼントづくりをする。 
	『年長児のお祝いをする環境づくり』(1)(3) ・ お祝いする気持ちを込めて、花や輪っかなどをつかって、廊下や玄関を飾る。 
用具・素材	・ 千代紙・アイロンビーズ・プラバン・リボン・画用紙・色画用紙・色紙 ・ フジテープ・布テープ・牛乳パック・紙粘土 ・ ホッチキス・水性/油性ペン・絵の具・はさみ・パス・のり など
教師の援助環境構成	○ 進級・修了について具体的に知らせ、見通しをもって生活できるようにかわり、進級・修了に向けての活動に意欲的に取り組めるようにする。 ○ 春の訪れや進級が実感できるような言葉かけをし、成長の喜びやうれしさが味わえるようにする。

	4月 (5歳児)
月のねらい	○ 新しい環境に慣れ、年長組になった喜びを感じながら、教師や友達との遊びを楽しむ。 ○ 身近な春の自然に興味や関心をもち、見たり触れたりして遊ぶ。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形にかかわるねらい	○ 春の自然を遊びの中に取り入れ、自分なりの表現を楽しもうとする。 ○ いろいろな素材や用具を使って、友達と一緒に作る喜びを感じる。
幼児の姿	 『プレゼントづくり』(3) ・年少時の経験を生かして、絵を描く、紙を切る、貼る、折るなどして心をこめてプレゼントをつくる。  『草花で遊ぶ』(2) ・しろつめぐさ・たんぽぽ・れんげそうなど、春の草花を使って花束や冠・ブレスレットなど、いろいろな物を友達や教師とついたり、見せ合ったりする。 ・土や砂のごちそうに、いろいろな草花を飾ったり乾いた砂をまぶしたりなど、それぞれの見立てを楽しみながらつくる。  『砂場遊び』(2) ・スコップで掘ったり積み上げたりしながら、大きな山をついたり、コテを使って固めたりする。 ・大小のスコップ・じょうろ・コテなど、いろいろな砂場の道具を遊びの必要に応じて使えるようになる。  『身近な素材を使って遊ぶ』(3) ・空き箱、空き容器、広告など身近な素材を組み合わせて表現することを楽しむ。 ・つくった物を使って、友達とかかわって遊ぶことで、さらに工夫したり作り直したりする。  『飾ったり変身したりして遊ぶ』(2) ・スズランテープや広告などを使って、憧れの役に変身するための品物をつくる。 ・できた物を身につけ、友達と遊びのイメージを共有しながらいろいろなものになりきって遊ぶ。 
用具・素材	・ 空き箱・空き容器・広告・色紙・牛乳パック・カラーポリ袋 ・ 春の草花・カラービニールテープ・セロハンテープ ・ スコップ・型ぬき・マジック・パス・はさみ・色鉛筆 など
環境構成 教師の援助	○ 個々の幼児の表現を受け止めたり、互いの表現に気づかせたりすることで、友達と一緒につくることの楽しさが味わえるようにする。 ○ 年少時に経験した遊びが楽しめる場や、描いたりつくったりして自由に表現できる場を整え、安定して生活できるようにする。

5月（5歳児）	
月のねらい	○ 友達とかかわりながら、好きな遊びを十分に楽しむ。 ○ 戸外でのびのびと体を動かす楽しさや心地よさを味わって遊ぶ。 ○ 野菜の栽培や草花での遊びを通して、植物に関心をもつ。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 素材や道具を選び、使い方を考えたり工夫したりしながら遊ぶ。 ○ 身の回りの自然に興味や関心をもち、遊びにとり入れて楽しむ。
幼児の姿	 『こいのぼりづくり』(2) ・ カラーポリ袋やプチシート・スズランテープ・包装紙など好きな材料を選び、友達と一緒にこいのぼりづくりを楽しむ。 ・ できあがったこいのぼりを見て、材料によって質感や扱い方が違うことに気づく。 
	『積み木で遊ぶ』(3) ・ 正方形や長方形、三角形などいろいろな形を組み合わせてつくったり、できたもので友達との遊びを楽しんだりする。 ・ 繰り返し遊ぶ中で、三角形と三角形を組み合わせると四角形になることや、組み合わせのおもしろさを感じながら遊ぶ。  『色水遊び』(2) ・ パンジー・よもぎなど春の草花を使い、色水づくりを楽しむ。 ・ 年少時の経験から、できあがる色を予測して草花を選び、すりばちなどを使って色水づくりを楽しむ。
	 『絵の具遊び』(1) ・ 自分の好きな色を塗ったり、混色によってできる色の不思議さに感動したりしながら、絵の具遊びを楽しむ。 ・ 絵の具・水の量によって同じ色でも濃淡があることに気づく。
用具・素材	・ 包装紙・ペットボトル・スズランテープ・カラーポリ袋・画用紙・セロハンテープ ・ ソフト積み木・すりばち・すりこぎ・じょうご・ボール ・ 絵の具・はさみ・のり・パス・水性/油性ペン・色鉛筆 など
教師の援助	○ 幼児が必要に応じて素材を選べるようにわかりやすく分類したり、出し入れしやすい場所に整理しておいたりする。 ○ 個々の幼児なりの表現や思いを受け止め、認めたり共感したりして、自由に表現する楽しさを味わえるようにする。

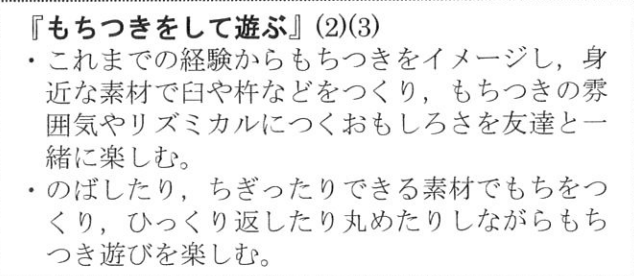
6月（5歳児）	
月のねらい	○ 自分の思いや考えを出し合いながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ○ 自分なりの目的をもって取り組むなかで、試したり工夫したりする楽しさを味わう。 ○ 梅雨期の自然現象や身近な動植物に興味・関心をもってかかわる。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ いろいろな素材にかかわりながら、自分なりに試したり工夫したりする楽しさを味わう。 ○ 友達と思いや考えを出し合いながら、イメージを共有して遊ぶ。
幼児の姿	『色水遊び』(1) ・ ヤマモモ・ユスラウメなどの木の実を使って色水をつくる。 ・ 自分がイメージした色になるよう指先でもんだり、水の量を加減したりする。 ・ できた色水を友達と見せ合い、色の濃淡・透明感などそれぞれの美しさや香りを感じていく。 
	『シャボン玉遊び』(1) ・ 色の美しさや不思議さを感じながらシャボン玉遊びを楽しむ。 ・ 空き容器・うちわ・網・ハンガーなど、身近なさまざまな素材で試し、いろいろなシャボン玉をつくらうとする。 
	『段ボールで遊ぶ』(3) ・ 大小の段ボールを組み合わせたつないだりしながら家などをつくる。 ・ 友達と思いを出し合い、遊びのイメージを共有しながら遊びに必要なものを工夫してつくる。 ・ 段ボールの特徴に気づき、つないだり、貼ったりするための材料を選んで使う。 
	『砂場遊び』(2) ・ 山やトンネルをつくり、板・トイ・筒などを組み合わせて、水を流したり渡ったりして遊ぶ。 ・ 砂の性質や水の流れ方に気づいたり楽しんだりする。 
用具・素材	・ シャボン玉液・ストロー・針金・牛乳パック・段ボール・空き箱・ペットボトル ・ 画用紙・色紙・セロハンテープ・ガムテープ・すりばち・すりこぎ・じょうご・ボール ・ ザル・スコップ・カップ・皿・バケツ・トイ・筒・はさみ・マジック など
教師の援助環境構成	○ 色水の美しさを感じられるようにいろいろな形の容器を準備し、本物らしさが味わえるようにする。 ○ 幼児が思いやイメージを出し合いながらつくっている過程を認めたり、個々の気づきを周りの友達に知らせたりしていく。

7月 (5歳児)	
月のねらい	○ いろいろな水遊びに興味・関心をもってかかわり十分に楽しむ。 ○ 遊びの中で自分の思いや考えを友達に伝える。 ○ 友達との遊びを楽しみながら、自分なりの目的をもっていろいろな遊びに取り組んでいく。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ いろいろな水遊びを通して水に親しみ、自分なりに試したり工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 身近な素材に十分かかわり、遊びの中で生かそうとする。
幼児の姿	『石鹸遊び』(1)(2) ・ 石けんを擦ったり水を加えて泡立てたりして、細かい泡づくりを楽しむ。 ・ できた泡をホイップに見立て、デザートづくりをしたり、色水と合わせてみたりして、より本物らしく見えるように工夫する。  『水に流したり浮かしたりして遊ぶ』(2) ・ 水に浮かぶ物や流れる物に関心をもち、いろいろな材質や形のもので試す。  『笹飾りをつくる』(1)(3) ・ 色紙を折ったり曲げたり切ったりなど、さまざまな技法を組み合わせて笹飾りをつくる。 ・ つくるものによって、ハサミやのり、ホッチキスなどの用具を使い分ける。 ・ 色紙の色の配色を考え、できあがりイメージしながらつくる。  『お化け屋敷ごっこ』(2)(3) ・ お化け屋敷のイメージが広がり、段ボールや黒いビニールなどで暗くしてお化け屋敷ごっこを楽しむ。 ・ 友達が驚きそうな絵を描いたり、しかけを考えたりする。 
用具・素材	・ 石鹸・段ボール・色紙・スズランテープ・布テープ ・ カラーポリ袋・新聞紙・牛乳パック・スポンジ・泡立て器・おろし金 ・ はさみ・ホッチキス・のり・水性/油性ペン など
環境構成 教師の援助	○ いろいろな素材を準備し、幼児がイメージや目的に合わせて選べるようにする。 ○ 幼児のイメージや発想を大切にし、つくりたい物やしたいことが実現できるように話を聞きながら、一緒に進めていく。

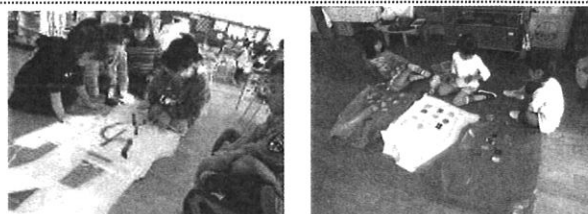
	9月（5歳児）
月のねらい	○ 気の合う友達と遊びながら、園生活のリズムや友達関係を取り戻す。 ○ 体を思いっきり動かして遊ぶ心地よさや競い合って遊ぶ楽しさを味わう。 ○ 友達と一緒に遊びを進めていく中で、自分の思いを表現する。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ イメージを広げながら、目的に合わせて必要なものをつくって遊ぶ。 ○ 運動会で経験したことや感動したことを描いたりつくったりして表現する。 ○ 草花の種取りや虫探しをする中で、季節の移り変わりを感じながら遊ぶ。
幼児の姿	『種取りをして遊ぶ』(1) ・アサガオ・ヒマワリ・ホウセンカ・フウセンカズラなど、いろいろな花の種取りをする。 ・種の形や色の違いに気づき、分類したり、数を数えたり、構成遊びを楽しんだりする。  『敬老会の日のプレゼント』(2) ・自分が思っていることや感謝の気持ちを、鉛筆・色鉛筆・マジックなど、さまざまな用具を使い、葉書に絵や文字で表現する。  『国旗づくり』(3) ・運動会の万国旗に関心を持ち、友達と教えあったりして自分が描きたい国旗をつくる。 ・国旗の色やデザインに興味をもって、そのものらしくつくろうとする。  『運動会の絵』(3) ・運動会で印象に残ったことや楽しかったことなどを、パスや絵の具を使って描く。 ・自分のイメージした色合いに近づけようと絵の具の溶き方や混色を試みる。 
素材・用具	・スズランテープ・色紙・画用紙・セロハンテープ ・絵の具・パス・はさみ・マジック・のり など
教師の援助環境構成	○ 感じたことや表現したいものが実現できるようにいろいろな素材や用具を準備しておく。 ○ 個々の幼児のイメージが広がっていくように、行事について去年の経験を話題にし、思い出しながら話し合う機会や場をつくる。 ○ 植物の変化に気づくことができるような言葉かけをしながら、幼児の発見や感動を受け止めていく。

10月（5歳児）	
月のねらい	○ 互いの考えを出し合いながら、共通の目的に向かって遊びを進めていく楽しさを味わう。 ○ 秋の自然物を取り入れて遊びながら、友達と積極的にかかわる。
「領域」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 友達と共通の目的に向かって取り組み、考えたことを言葉で伝え合いながらイメージを広げていく。 ○ 様々な素材の特性を生かし、友達と試したり工夫したりしながら遊びを進めていこうとする。
幼児の姿	 『変身するものをつくって遊ぶ』(3) ・スズランテープやカラービニールテープ・段ボール片など、身近な素材を目的に合わせて工夫して使う。 ・色の組み合わせ方を考えたり、より丈夫なものになるよう試行錯誤したりしながらつくることを楽しむ。
	『秋の自然物を使って遊ぶ』(2)(3) ・いろいろな種類のドングリや、木の枝・ススキなどの特徴を生かして製作したり、遊びの中に取り入れたりする。 ・自然物に段ボールや木片・ペットボトルのキャップなどを組み合わせて、いろいろな遊び方を楽しむ。  
	『さつまいもを使って遊ぶ』(1)(3) ・擦りおろしたさつまいもの粘りのある感触に、不思議さやおもしろさを感じる。 ・団子やハンバーグをイメージし、こねたり丸めたりしながらごちそうづくりを楽しむ。 『お祭りごっこ』(1)(2) ・地域のお祭りの獅子舞の様子を思い出しながら、布や空き箱・スズランテープ・空き缶・筒などいろいろな材料を使い、友達と一緒に獅子や太鼓を工夫してつくる。
素材・用具	・牛乳パック・空き箱・カラービニールテープ・輪ゴム・さつまいも・空き缶・筒 ・ドングリ・木の枝・木片・スズランテープ・布テープ・セロハンテープ・色画用紙 ・色紙・段ボール箱・ペットボトルのキャップ ・おろし金・ボンド・ペイントマーカー・はさみ・のり・パス・水性/油性ペン など
教師の援助環境構成	○ 幼児に経験させたい素材や技法にかかわって遊べるよう材料や用具を環境として取り入れていく。 ○ 幼児の思いやこだわっていることを大切にしながら、材料の選択やつくり方について丁寧に相談に乗り、つくりたいもののイメージがより具体的になるようにする。 ○ 地域の行事や秋の自然に親しみ、興味をもってかかわれるよう計画的に地域の行事などを保育に取り入れていく。

11月 (5歳児)	
月のねらい	○ 友達と意思を出し合ったりよさを認め合ったりしながら、一緒に遊びを進めていく。 ○ 友達と一緒に、十分体を動かして遊ぶ気持ちよさを味わう。 ○ 木の実や木の葉を遊びに取り入れ、試したり工夫したりするおもしろさを味わう。
「表現」の領域 ねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現に かわるねらい	○ 友達と見せ合ったり伝え合ったりしながら、ともに表現する楽しさを味わう。 ○ 秋の自然物の感触や美しさに触れ、イメージを膨らませて様々に表現して楽しむ。
幼児の姿	『自然物で遊ぶ』(1)(2) ・ 園庭の樹木や木々が紅葉している美しさを感じ、色づいた葉っぱを拾ったり集めたりする。 ・ ジュズダマやツバキの実・マツボックリなどに興味をもってかかわり、身に着けたり飾りつけたりする。 
	『砂場で遊ぶ』(2)(3) ・ 高い山や広い池をつくることに熱中し、他のグループがつくったものと比べたり合体させたりして、よりおもしろくなるようにする。 
	『1, 2年生に招待してもらって』(2)(3) ・ 小学生がつくったボーリングやモグラたたきなどのゲームを楽しんだり、製作コーナーでつくり方を教えてもらいながら遊んだりつくったりして楽しむ。 ・ 小学生との遊びが刺激となり、自分たちのアイデアを出し合いながら、ゲームを考え、つくって遊ぶ。  
	『ごっこ遊び』(2)(3) ・ 友達と相談して、遊びに必要な材料や用具を選んで使い、くじ引き屋やゲーム屋などの品物を考えたり工夫したりしてつくる。 ・ 友達や年少児によくわかるように、看板やメニューなどをつくる。  
用具・素材	・ イチョウやモミジなどの木の葉・ジュズダマ・センニチコウなどの実や花・ストロー ・ モール・紙粘土・楊枝・ひご・スコップ・筒・段ボール・色紙・画用紙・釣り糸・ボンド ・ セロハンテープ・ガムテープ・はさみ・のり・絵の具・マジック・バケツ・トイ など
教師の援助環境構成	○ 友達と一緒に試したり工夫したりすることが楽しめるように、自然物や素材を十分準備しておく。 ○ 幼児のイメージしたものができるように、目的や用途に合わせた用具の使い方を知らせたり、細かい部分を手伝ったりする。

	12月（5歳児）
月のねらい	○ 共通の目的に向かって、友達と考えを出し合い、協力して遊びを進めていく。 ○ 寒さに負けず、戸外で思いきり体を動かして遊ぶ。 ○ 冬に向かう季節の変化に気づき、興味や関心をもつ。
「表現」の領域 ねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現に かかわる ねらい	○ いろいろな素材を生かし、より遊びがおもしろくなるように工夫する。 ○ 遊びの中でイメージを膨らませながら、友達と一緒に表現する喜びを味わう。
幼児の姿	 『リースづくり』(1)(2) ・ さつまいものツルでリースができることを知り、教師と一緒にリースづくりをする。 ・ リボンや木の実・綿などの素材を選んで飾ったり、クリスマスらしい色使いを工夫したりする。  『スタンドグラスづくり』(1)(3) ・ 年少時の経験や、窓ガラスの模様が床に映る様子がきっかけとなり、色紙・画用紙などの切り紙にセロファンを組み合わせることでスタンドグラスをつくり、床に映る模様や色を楽しむ。 ・ 床に映る濃さによって、天候や日差しの違いに気づく。  『毛糸で遊ぶ』(1) ・ 冬の支度をする中で、毛糸や綿・布などが温かいことを感じ、遊びに取り入れる。 ・ 配色を考えながら毛糸を巻いてアクセサリーをつくったり、マフラーなどをつくったりする。  『もちつきをして遊ぶ』(2)(3) ・ これまでの経験からもちつきをイメージし、身近な素材で白や杵などをつくり、もちつきの雰囲気やリズムカルにつくおもしろさを友達と一緒に楽しむ。 ・ のばしたり、ちぎったりできる素材でもちをつくり、ひっくり返したり丸めたりしながらもちつき遊びを楽しむ。 
用具・素材	・ 毛糸・割りばし・筒芯・綿・落ち葉・枝・木の実・段ボール・色紙・新聞紙・リボン ・ スズランテープ・セロファン・カラーポリ袋・トイレットペーパー・牛乳パック ・ 布テープ・絵の具・水性/油性ペン・はさみ・ホッチキス・のり など
教師の援助 環境構成	○ 幼児自身が頑張ったと感じているところや自信をもって取り組んだところに気づき、言葉にして認めたり、友達に紹介したりする。 ○ 冬の生活が楽しめる環境づくりをし、遊びのイメージや目的が共有できるようにする。

	1月（5歳児）
月のねらい	○ 友達と話し合いながら、共通の目的に向かって遊びを進める。 ○ 冬の自然を感じながら、戸外遊びを楽しむ。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 素材の性質を考えながら、試したり工夫したりする。 ○ 友達と一緒に工夫したり考えたりしながら、ともにつくる喜びを感じる。
幼児の姿	『郵便ごっこ遊び』(1)(2) ・ 年賀状が自分に届いた経験から、友達と郵便のやりとりを楽しむ。 ・ 相手に伝えたい内容を文字や絵で表現し、返事が届くのを楽しみに待つ。   『風を利用して遊ぶ』(2) ・ ビニール・紙袋・広告・紙コップ・発砲スチロールトレイ・スズランテープなどの素材を使って、風になびくものをつくり、素材の性質や大きさ・形などによって浮かび方やなびき方が異なることを知ったり、ひも、たこ糸の操り方や揚がる高さが違ってくことに気づいたりする。  『カルタづくり』(2)(3) ・ 頭文字に合った簡単な文を考え、絵を描いてカルタをつくる。 ・ 自分のカルタをつくった喜びを感じ、友達と一緒に楽しく遊ぶ。 
用具・素材	・ 段ボール箱・色紙・千代紙・スズランテープ・ひも・たこ糸・竹ひご ・ カラーポリ袋・広告・紙袋・紙コップ・発砲スチロールトレイ ・ はさみ・ホッチキス・のり・水性/油性ペン・パス・布テープ など
教師の援助	○ いろいろな素材で試したり、様々な組み合わせができるよう必要な材料を幼児と一緒に考えたりしながら準備する。 ○ 幼児同士がアイディアを出し合っている姿を受け止めたり、おもしろい発想や工夫しているところを認めたりして、つくりたいものが実現できるようにする。

	2月 (5歳児)
月のねらい	○ 共通の目的に向かって力いっぱい取り組み、自信をもって表現する。 ○ 友達と思いを伝え合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを存分に味わう。 ○ 冬の自然の不思議さに興味・関心をもつ。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活のなかでイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ 友達とイメージを共有し、相談しながら必要なものをつくっていく。 ○ 今までに経験したことを生かしながら、自分なりに工夫して表現することを楽しむ。
幼児の姿	『豆まきをして遊ぶ』(2)(3) ・ 節分に関心をもって、豆まきに必要な鬼の面や豆・升をつくる。 ・ 自分がイメージした鬼の面になるように、目や口・角の付け方などを考えたり工夫したりする。 ・ つくった鬼の面をかぶり、友達と一緒に鬼になりきって表現したり、豆まきを楽しんだりする。  『生活発表会に必要なものをつくる』(1)(2)(3) ・ 生活発表会に向かい、面や衣装・小道具など、つくろうとするものの材料や形などを友達と一緒に考えたり、今までに経験した方法を用いて工夫してつくったりする。  『冬 naturally に触れて遊ぶ』(1)(3) ・ 庭の池や水たまりが凍っていることを発見し、触ったり持ったりして冷たさや美しさ・不思議さを感じる。 ・ 明日も氷ができていることを期待して、バケツやタライ・カップや皿などに水を入れ、毛糸・花などを浮かべて氷づくりを楽しむ。  『学校ごっこ』(2)(3) ・ 体験入学や学校探検を通して小学校生活に期待をもち、一年生や先生になって遊ぶ。 ・ 空き箱や画用紙・段ボール・紙などの材料を使い、ランドセルやノートをつくって楽しむ。 
素材・用具	・ カップ・カラービニール袋・スズランテープ・ビニールテープ・段ボール・モール ・ 牛乳パック・毛糸・色紙・画用紙・紙・発泡スチロール・セロハンテープ・ガムテープ ・ トレイ・不織布・空き箱・ホッチキス・はさみ・のり・絵の具 ・ マジック・鉛筆・バケツ・タライ など
教師の援助	○ 今までに経験したいろいろな方法を組み合わせて表現することの楽しさやおもしろさに気づけるようにかかわる。 ○ 幼児のがんばりや表現を受け止めたり認めたりすることで、友達と一緒に意欲的に取り組みやり遂げた満足感が味わえるようにする。

	3月 (5歳児)
月のねらい	○ 自分の成長や友達とのつながりを感じながら、見通しをもって意欲的に生活を進めていくとする。 ○ もうすぐ1年生という喜びや期待感をもちながら、園生活を十分に楽しむ。
領域「表現」のねらい	(1) いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 (2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
造形的表現にかかわるねらい	○ いろいろな活動に喜んで取り組み、自分の思いや感じたことを豊かに表現する。 ○ 一人ひとりが自分の力を発揮し、目的に向かって協力しながらのびのびと表現することを楽しむ。
幼児の姿	『ひなまつりのひな飾りをつくる』(1)(3) ・園や家庭で飾られている雛人形から、季節の行事に興味をもってひな飾りをつくる。色紙や千代紙などを使って着物や飾りがつくれることに興味をもち、自分だけのお雛さまやお内裏さまができていく。より本物らしくしようと、ぼんぼりやひしもちなどまわりの飾りなども細かく表現しようとする。  『お別れ会の準備をする』(2) ・今までお世話になった年少児や先生への感謝の気持ちを込めて、喜んでもらえるものを考えてプレゼントをつくる。 ・つくったものをプレゼント袋に入れたり、リボンやモールで巻いたりラッピングするなどして、最後まで丁寧に仕上げる。  『自画像を描く』(2) ・パスや絵の具を使って、大きな画用紙いっぱい自分の姿を描く。 ・好きな服や着ている服の模様や色にこだわって表現しようとする。  『作品バッグをつくる』(1) ・園生活が残り少ないことを感じながら、作品を整理するためのバッグづくりに意欲的に取り組む。色紙を使って切り貼したり、園生活の思い出をマジックやクレパスで描いたり自分の思いや感じたことをのびのびと自由に表現する。 
用具・素材	・プラ板・モール・千代紙・リボン・リリアン・スズランテープ ・色紙・色画用紙・ビニール袋・牛乳パック・空き箱・布テープ・セロハンテープ ・はさみ・のり・絵の具・クレパス・水性/油性ペン など
教師の援助環境構成	○ 修了・入学の喜びや期待感をもち、残り少ない園生活に見通しをもって主体的に取り組めるようにする。 ○ その子らしい発想が十分に生かされ豊かに表現できるよう、時間や場を確保し、じっくりと取り組めるようにする。

小学校 図画工作科学学習内容の系統表

〔小学校部会テーマ〕

「かかわり つながり 自らつくりだす造形教育」

○小学校テーマと学習内容系統性との関連

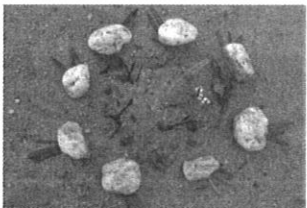
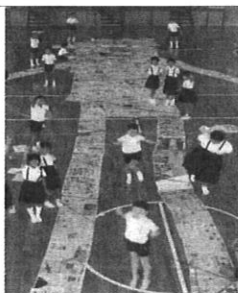
表現や鑑賞活動を通して、子どもたちが「表現内容」「表現材料」「表現方法」に主体的にかかわり、周りの「ひと」「もの」「こと」につながり造形活動を広げ深めていくことで自己実現に努め、社会の中で自信や誇りをもって豊かに生きることのできる子どもの姿を求めている。

小学校低学年においては幼児期に培った表現活動の充実、発展としての図画工作の位置付けをしていくことが大切である。また、小学校と中学校のそれぞれの現状を基に、9年間を見通し、中学校の学習内容を見据えた高学年での学習活動を展開することで、「表現・図画工作・美術」の学びの連続性が生まれ、子どもが生涯にわたり、造形活動を楽しみ、より確かな表現や鑑賞へとつながっていくことが期待できる。そこで、小学校各学年で学習内容を精選し、その学年としての大切な造形体験やその時期にならないとできないものの見方や感じ方、発想の内容などを明らかにし、それぞれの学年や時期に身に付けたい内容を示す一覧表を作成した。

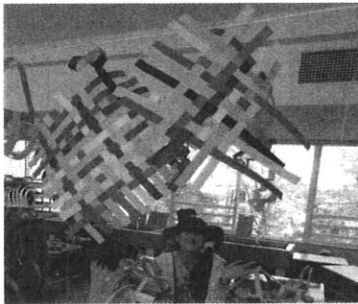
○小学校の学習内容系統性一覧表について

「造形遊び」「絵や立体に表す」「工作に表す」「鑑賞」について学習内容の一覧表を作成した。幼稚園、中学校の先生方と共通理解を深めながら、各発達段階における系統性を考慮してきた。「造形遊び」においては、その活動内容の特性から4つに分類し、大切にしたい活動のキーワードと指導実践例を整理して示した。「鑑賞」については、地域の美術館との連携を図りながら、子どもたちに出会わせたい作品や題材例を示したものとなっている。

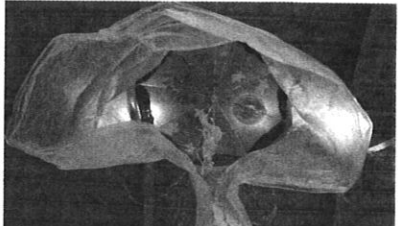
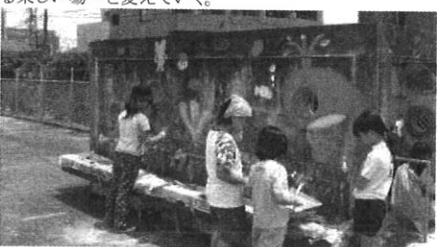
小学校 A表現(1)「造形遊び」の学習内容の系統性

第1学年及び第2学年	
目標及び内容	A表現 (1) 材料を基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。 ア 身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。 イ 感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくること。 ウ 並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせてつくること。
共通事項	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。 イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。
主な活動のキーワードと題材例	主に 全身 的 な 造 形 活 動 ・手や体全体を思いのままに、体全体の感覚で ・積んだり、かいたりする全身的な活動を 『すなや土と遊ぼう』…手や体全体を思いのままに、体全体の感覚で表現する。   『どんどんできるよ』…身近にある材料を使って、つないだり組み立てたりして遊ぶ。  
	主に 材料 に 基 づ く 活 動 ・身近な自然物や人工の材料の形や色などに働きかける 『シワクチャ紙を貼り合わせると…』…紙をくしゃくしゃにした形から発想する。  『ざいりょうのへんしん』…ポリ袋をいろいろなものに変身させて遊ぶ。  
	主に 場 所 ・ 空 間 に 挑 む 活 動 ・直接土や砂に触れ、ほったり積んだり ・広い場所を利用して 『こっちにおいでよ』…教室や校庭で、飾ると楽しそうな場所を見つけ表現する。   『この石何に見えるかな』…集めた石の形の特徴から連想し表現する。  
	主 に 構 成 遊 び ・材料を並べる、つなぐ、積むなど 『広げて・つなげて』…身のまわりにある材料を生かし、場所を選んで、いろいろな並べ方やつなげ方を自分なりに工夫する。   『ひっかけてピーン』…身いろいろな色の毛糸をのばして、場所にあるものにひっかけて伸ばしながら、はりめぐらしていく。 

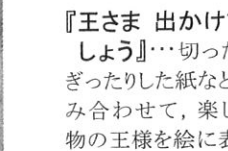
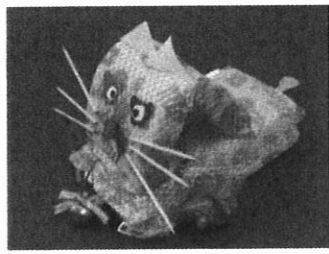
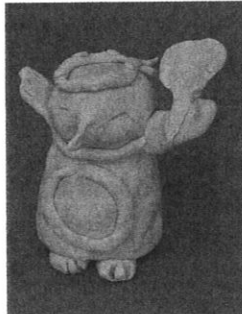
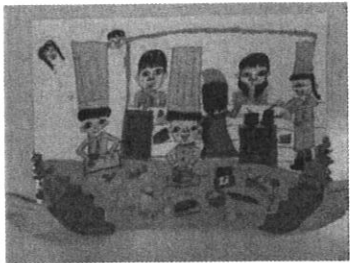
小学校 A表現(1)「造形遊び」の学習内容の系統性

第3学年及び第4学年	
目標及び内容	A表現 (1) 材料や場所などを基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。 ア 身近な材料や場所などを基に発想してつくること。 イ 新しい形をつくるとともに、その形から発想したりみんなで話し合ったりしながらつくること。 ウ 前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどしてつくること。
共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。 イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。
主な活動のキーワードと題材例	主に全身的な造形活動 ・体全体を動かしたり、みんなで話し合ったりしながら 『ペパテプ・パラダイス1』 …紙テープを使って、自分を飾るおもしろい形を見つけて遊ぶ。  『風と光の中で1』…カラーポリ袋を切り開き、つなげた形で活動する。 
	主に材料に基づく活動 ・材料の特徴やものをつくった経験をもとに ・みんなで話し合っ 『きせつの中で』…季節が感じられる材料や場所を見つけ活動する。    
	主に場所・空間に挑む活動 ・場所の特徴をもとに 『並べてつなげて』…場所の特徴から発想し並べたりつなげたりする活動を楽しむ。   『ワンダーランドへようこそ』…細長い紙や紐をつなげたりつるしたりしながら不思議な空間をつくる。 
	主に構成遊び ・組み合わせる、形を変えてつくるなど ・美しさや面白さ、表し方の感じの違いに関心 『ペパテプ・パラダイス2』 …紙テープを使って、組み合わせたり編んだりして活動する。  『風と光の中で2』…校舎の間に引っ張ったロープに飾りを並べてりゆれてできる形を楽しむ。 

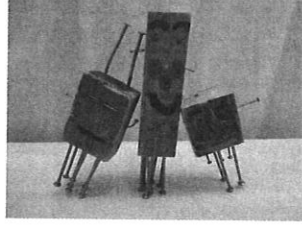
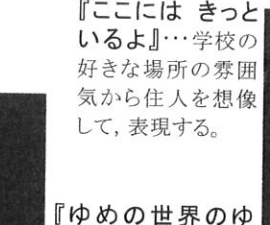
小学校 A表現(1)「造形遊び」の学習内容の系統性

第5学年及び第6学年	
目標及び内容	A表現 (1) 材料や場所などの特徴を基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。 ア 材料や場所などの特徴を基に発想想像力を働かせてつくること。 イ 材料や場所などに進んでかかわり合い、それらを基に構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながらつくること。 ウ 前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしてつくること。
共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。 イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。
主な活動のキーワードと題材例	主に体験を生かし、みんなで意見を出し合いながら 『わくわくランド』…校庭にあるものに働きかけ、その特徴をいかしながら遊びの場をつくる。  『けん・けん・けーパ』…遊びの経験を生かして、けんぱーロードに楽しいリズムをつけていく。 
	主に材料に働きかけ、それらの特徴から発想する ・想像力や技能などを総合的に働かせ 『光とかげ』…光の特色を生かして造形的な環境を構成する。  『地球アート』…身のまわりの場所や材料を生かし風や光を使った造形活動を楽しむ。 
	主に場所などの特徴をもとによさや美しさを考え、楽しく活動 ・周囲の様子を考えて 『わくわくランド』…場所の特徴や様子から発想し、ユーモアのある楽しい場へと変えていく。  『1㎡の…』…空間から発想し、いろいろな場所に置いて活動を楽しむ。  
	主に構成の美しさや面白さ ・環境を造形的に構成 『風が見えたら』…学校で一番の風の通り道の特徴や様子から発想し、形や色に置き換える活動を楽しむ。  『ひらいてみると』…傘と場所の関係を確かめながら、傘を組み合わせて造形的な空間をつくる。 
	主に構成遊び   

小学校 A表現(2)「絵や立体に表す」の学習内容の系統性

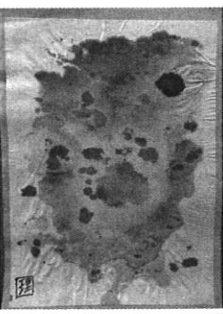
第1学年及び第2学年	
目標及び内容	A 表現 (2) 感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。 ア 感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。 イ 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。 ウ 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。
共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。 イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。
ワキ ― ― ド	・直感的に ・思いのままに ・身近な材料、扱いやすい用具
材表 料現	画用紙、色画用紙、クレヨン、パス、サインペン、水性顔料ペン 土、粘土、木、はさみ、のり、簡単な小刀類など
表 現 方 法	・かきたいものを数多く思い浮かべ、かくものに合わせて形や色を考え表現する。 ・自分や一番表したいもの・強く感じたものを中心に大きく表現する。 ・基底線(ベースライン)をもとに初歩的な位置表現をする。 ・個々の形の大まかな特徴をとらえて表現する。(形の違い、物の表情、動作) ・気に入った色のクレヨンなどで思いついた好きなものを絵にかく楽しさを味わう。 ・いろいろな大きさの箱を集めて、形や色などの面白さに気付き、積んだり、並べたりして表現する。 ・粘土に親しみ、粘土の感触を味わいながら形をつくり、積んだり並べたりしながら、表し方を工夫する。 ・自分の好きな動物を、想像を広げながら粘土でつくる。 ・粘土の板をつくり、いろいろな道具を使って、型抜きや型押しを楽しむ。
扱 用 具 方 の	画用紙、色画用紙、紙、クレヨン、パス、サインペン、水彩絵の具の使い方 粘土、粘土板、へら、はさみ、のり、簡単な小刀類などの扱い方
題 材 例	 『おしゃれなぼうし』…形や色を工夫して、自分だけのおしゃれな帽子をつくる。  『しゃぼん玉にのって』…表し方を工夫して、しゃぼん玉に乗っている様子を表現する。  『あきいろペッタン のせかい』…スタンプで生まれた模様を使って、自分だけの楽しい世界を表現する。  『王さま 出かけましよう』…切ったりちぎったりした紙などを組み合わせ、楽しく動物の王様を絵に表す。  『ざいりょうのへんしん』…身近な材料からイメージを広げ、その特徴を生かして表現する。  『おしゃれな どうぶつ』…模様をつけたり、衣装を着せたりして、動物をおしゃれに変身させる。  『ゆめのたまごから 生まれたよ』…想像を広げて、魔法の卵から、夢を叶えた自分を誕生させる。

小学校 A表現(2)「絵や立体に表す」の学習内容の系統性

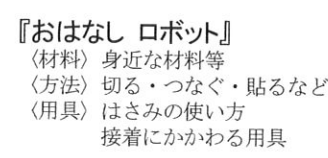
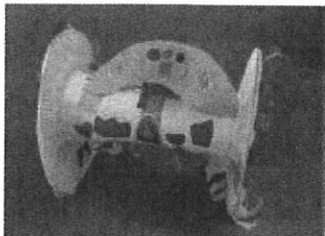
第3学年及び第4学年	
目標及び内容	A 表現 (2) 感じたこと、想像したこと、見たことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。 ア 感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けて表すこと。 イ 表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。 ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。
共通事項	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。 イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。
ワキ ― ― ド	・中心になるものとまわりのものに目を向けて ・形や色、材料や用具の特徴を生かし ・組み合わせの感じや美しさや用途
表現材料	画用紙、色画用紙、黄ボール紙、サインペン、コンテ、水彩絵の具 版画用具一式、いろいろな紙や布、毛糸など貼ってみたい材料、はさみ、のり 木切れ、板材、釘、小刀、使いやすいのこぎり、金づち、粘土、粘土板、へら、ピアノ線(切り取り用) たこ糸、いろいろな形や色、大きさ、質感などの布、ひもやモール、針金など
表現方法	・主題がわかるように大小の関係を工夫して表現する。 ・個々のもの、部分の違いをとらえて表現する。 ・部分相互の色彩を比較、色彩の変化をとらえて表現する。(色相・明度・彩度について関心をもつ。) ・画用紙の大きさに合わせ、中心になるものや囲りのものなどのだいたいの形をとらえてかく。 ・個々のものの表情や動作や形の特徴をとらえて表現する。 ・粘土の特性を生かしながら、自分で想像したことをもとに作品にする。 ・自分の作品をいろいろな角度から見て、見直したり変形したりする。また、できた形から想像を広げる。
扱い具 方の	サインペン・水彩絵の具の使い方、画用紙・色画用紙・黄ボール紙などの資質の違い だんボールカッター、はさみ、接着剤、粘着テープの使い方 版画用具一式、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなどの扱い方
題材例	『版画』…多色刷りで版を重ねて、想像した楽しい世界を表現する。  『木切れでとんとん』…木切れの形から思いついたものを楽しくつくる。  『絵と言葉で表そう』…自分の思いを、絵と言葉の組み合わせを考えて表す。  『ここには きっと いるよ』…学校の好きな場所の雰囲気から住人を想像して、表現する。  『ゆめの世界のゆめの家』…ペットボトルの組み合わせ方や飾り方を工夫して、夢の家を立体に表す。  『大すき自分の線と色』…絵の具の使い方や、色のつくり方を覚えて、形や色を考えながら絵に表す。  『物語の世界』…物語の好きな場面の様子を想像し、自分の気持ちに合った表し方で表す。  

小学校 A表現(2)「絵や立体に表す」の学習内容の系統性

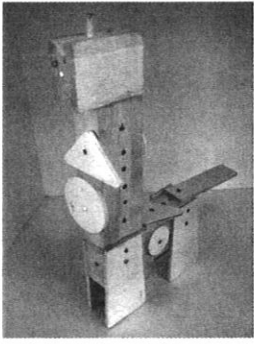
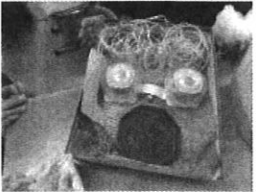
第5学年及び第6学年

目 標 及 び 内 容	A 表現 (2) 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。 ア 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けて表すこと。 イ 表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。 ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表すこと。
共 事 通 項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。 イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。
ワ キ ド	・中心になるものとまわりのものに目を向けて ・形や色、材料や用具の特徴を生かし ・組み合わせの感じや美しさや用途
表 現 材 料	画用紙、色画用紙、黄ボール紙、サインペン、コンテ、水彩絵の具 版画用具一式、いろいろな紙や布、毛糸など貼ってみたい材料、はさみ、のり 粘土、粘土板、へら、ピアノ線(切り取り用)、たこ糸、針金、糸のこぎり いろいろな形や色、大きさ、質感などの布、ひもやモールなど
表 現 方 法	・主題がわかるように大小の関係を工夫して表現する。 ・個々のもの、部分の違いをとらえて表現する。 ・部分相互の色彩を比較、色彩の変化をとらえて表現する。 (色相・明度・彩度について関心をもつ。) ・画用紙の大きさに合わせ、中心になるものや囲りのものなどのだいたいの形をとらえてかく。 ・個々のものの表情や動作や形の特徴をとらえて表現する。 ・粘土の特性を生かしながら、自分で想像したことを基に作品にする。 ・自分の作品をいろいろな角度から見て、見直したり変形したりする。また、できた形から想像を広げる。
扱 用 い 具 方 の	サインペン・絵の具の使い方、画用紙・色画用紙・黄ボール紙などの資質の違い だんボールカッター、はさみ、接着剤、粘着テープの使い方 版画用具一式、糸のこぎりの扱い方
題 材 例	『案山子づくり』…稲の収穫を前に、田んぼを守る案山子づくりに挑戦する。  『ようこそ〇〇マルシェへ』…マルシェに親しんでもらえるように、楽しいキャラクターをつくる。  『想像のつばさを広げて』…自分が感じた雰囲気や伝わるように、場面を表現する。  『表し方をくふうして』…視点や表現方法を工夫して、大切に思う風景を絵に表す。  『墨と遊ぶ』…様々な方法を試しながら墨と和紙で絵を表す。  『ねん土を使って』…土粘土や化粧土の特性を生かし工夫してつくり、焼成して仕上げる。  

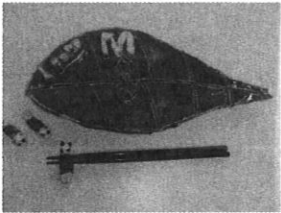
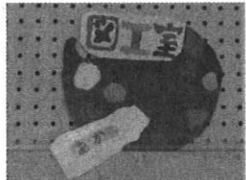
小学校 A表現(2)「工作に表す」の学習内容の系統性

第1学年及び第2学年	
目 標	A 表現 (2) 感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。
内 容 及 容 び	ア 感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。 イ 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。 ウ 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。
共 通 事 項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。 イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。
キ ー ワ ー ド	・「つむ・つなぐ・ならべる」方法の習得 (集合的表現) ・ 材料に応じた接合方法 ・ 用具の適切な扱い方
表 現 材 料	○ 紙類:画用紙, 色画用紙, 両面色画用紙, 薄手の画用紙, 厚紙, ダンボール紙等 ○ 身近な材料:たこ糸, 石, 落ち葉, 木の実, 小枝, 牛乳パック, ビニル袋, ビニルテープ, ひも, モール, 文房具 ストロー, 空き容器や紙コップなど転がりそうな身近材, 卵パック のような身近材等 ○ 自然材:ドングリなどの木の実・葉っぱ等 ○ 廃材:マヨネーズやカップラーメンの容器, 紙皿, アルミホイル, つまようじ, キャップ 等
表 現 方 法	・ できた形をつるしたり, 壁に飾ったりして楽しむ。〈ならべる〉 ・ 自然物の形を生かして並べ方や組み合わせ方を考え, 着色したり接着したりする。 〈つなぐ・ならべる〉 ・ 身の回りから材料を集め, その材料の形や色を生かす。〈つなぐ・ならべる〉 ・ 動く仕組みを生かして, 楽しい作品になるよう工夫してつくる。 〈つなぐ, 用具の適切な 扱い方〉
用 具 の 扱 い 方	・ はさみを使って紙を長く切ったり, 重ねて切ったりする。〈用具の使い方〉 ・ つくりたいものの感じが出るように着色したり接着したりする。〈材料に応じた接合方法〉 ・ カッター ナイフを正しく使い, つくりたい形に切り込みを入れたり飾り付けをしたりしてつくる。 〈用具の適切な扱い方〉
題 材 例	 『キラキラ アイスランドへ ようこそ』 〈材料〉身近な材料・カラーセロハン など 〈方法〉切る・つなぐ・貼るなど 〈用具〉はさみの使い方・接着にかかわる用具  『むくむく ニョキニョキ』 〈材料〉ビニール袋・ストロー・身近な材料等 〈方法〉切る・貼るなど 〈用具〉はさみの使い方・接着にかかわる用具  『おはなし ロボット』 〈材料〉身近な材料等 〈方法〉切る・つなぐ・貼るなど 〈用具〉はさみの使い方 接着にかかわる用具  『ヒラヒラ コロコロ』 〈材料〉紙皿、紙コップ、色紙 色画用紙等 〈方法〉切る・貼るなど 〈用具〉はさみの使い方 接着にかかわる用具 ○他の題材として チョコチョコかざり, わっかでへんしん, はこかざるんん, おってたてたら クルクルまわして, コロコロゆらりん, なにがでてくるかな!?, まどをひらいて わくわくすごろく, ときめきコンサート, ストローでこんにちは 

小学校 A表現(2)「工作に表す」の学習内容の系統性

第3学年及び第4学年	
目 標 及 び 内 容	A 表現 (2) 感じたこと、想像したこと、見たことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。 ア 感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けて表すこと。 イ 表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。 ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。
共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。 イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。
キーワード	- 削ったり、つないだり、組み合わせたり、形を変える方法（組み立て的表現） - 材料に応じた接合方法 - 用具の適切な扱い方
表現材料	○ 前学年までに経験した材料 ○ 紙類：片面波ダンボール、ボール紙、ダンボール紙、工作用紙、色紙等 ○ 身近な材料：スチレン皿、竹ひご、不織布、割りばし、紙粘土、ビー玉、板材、糸、布輪 ゴム棒、材（角柱、丸棒）等 ○ 自然材：木切れ、枝等 ○ 廃材：空き容器、空き箱等
表現方法	- 身近な材料を集め、グループで分担したりつくり方を工夫する。 〈組み合わせたり、材料に応じた接合方法〉 - 身近な材料を組み合わせ、風の力で動く仕組みをつくる。〈組立の工夫と自然の力の利用〉 - ビー玉の転がる仕組みや迷路を工夫する。〈つないだり・組み合わせたりする〉 - 開くと飛び出す仕組みを利用する。〈組み合わせたり、材料に応じた接合方法〉
用具の扱い方	- 身近な材料を削る・つなぐ・組み合わせる・形を変えるなどしたり、材料に応じた接合方法を選んだり工夫して表現する。 - パソコンの機能を生かして、表し方を試しながら製作する。〈機器の適切な使い方〉 - カッターナイフ・小刀、金づち、のこぎりなどの用具を適切に扱う。
題材例	 『にらめっこBOX』 〈材料〉 空き箱、身近な材料等 〈方法〉 切る・つなぐ・貼る・組み合わせるなど 〈用具〉 カッターナイフの使い方・接着にかかわる用具  『みんなの ドリームタウン』 〈材料〉 空き箱・模造紙・身近な材料等 〈方法〉 切る・つなぐ・貼る 組み合わせるなど 〈用具〉 段ボールカッター カッターナイフの使い方    ○他の題材として おもしろアイデアボックス、ハッピー小もの入れ、おもしろアイデアボックス サクサク小刀名人、ギコギコクリエーター、ふんわりふわふわ、ゴムの力で コロコロガーレ、ゴー！ゴー！ドリームカー、幸せを運ぶカード 『ギコギコ トントン』 〈材料〉 木材・木片・釘等 〈方法〉 切る・つなぐ 組み合わせる 〈用具〉 のこぎり 金づちの使い方

小学校 A表現(2)「工作に表す」の学習内容の系統性

第5学年及び第6学年	
目標及び内容	A 表現 (2) 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。 ア 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けて表すこと。 イ 形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表すこと。 ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表すこと感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。
共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。 イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。
キーワード	- 自分の表したいことに合わせて - 既習の学習を生かして新たな方法で表現する。(変換的表現)
表現材料	○ 前学年までに経験した材料 ○ 紙類:ケント紙等 ○ 身近な材料:アルミ針金、綿、スチレンボード、アクリル板、色セロハン・色つきガラス、ちょうつがい、ベニヤ板、針金、角材等 ○ 廃材:カップ、アルミ缶等
表現方法	・ 身近な材料の形や色を生かして、デザインした形になるよう着色や接合を工夫する。 (組み合わせ、材料に応じた接合方法) ・ いろいろな動く仕組みのおもしろさを生かす。 ・ 材料の特徴を生かした組み合わせ方や用具の使い方、加工、接着、着色などを工夫する。 ・ 針金などの材料を切ったり、曲げたりして、楽しく飾れるものをつくる。 ・ 針金のクランクなどの動く仕組みを生かして、楽しいものをつくる。 ・ 展示する場所や大きさに合わせて、方法を選び、協力してつくる。
用具の扱い方	・ 既習の用具などを適切に使う。 ・ 電動糸のこざりを使い、直線や曲線を思いに合わせて切り抜いてつくる。 (用具の適切な 使い方)
題材例	 『みんなのためのプレート』 (材料) シナベニア (方法) 切る・貼る・塗る (用具) 糸鋸の使い方 接着にかかわる用具 着彩、ニス塗りにかかわる用具   『My器をつくらう』 (材料) 焼成用粘土・釉薬 (方法) 切る・つなぐ・のぼす 組み合わせるなど (用具) たたら板、粘土ペラなど  『織る 編む』 (材料) 毛糸 (方法) 織る・編む (用具) 織機の作り方・使い方   ○他の題材として アミアミアミーゴ、1まいの板から、コマコマアニメーション、くるくるクランク くねくね糸のこパズル、伝え合いたい思いや気持ち、ドリームプラン

小学校 B「鑑賞」の学習内容の系統性

第1学年及び第2学年	
目 標 及 び 内 容	B 鑑賞 (1) 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。 ア 自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見ること。 イ 感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。
共 通 事 項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。 イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。
ワ キ 丨 丨 ド	・色や形、表し方の面白さ ・自分たちの作品や身近な材料 ・楽しく見る
た 出 い 会 作 わ 品 せ	・自分や友だちの作品 ・身のまわりにある様々な素材 (表現活動で使う材料・石や植物などの自然物など) ・絵本やわくわくする美術作品
題 材 例	・かげをうつして ・大すきな たからもの ・お気に入り見つけた！ ・お絵かきリレー 『お気に入りみつけた！』 『お絵かきリレー』
活 徳 用 島 し 県 た 立 題 近 材 代 例 美 術 館 所 蔵 作 品 を	★まっ白な紙に・・・ 美術館での作品鑑賞とワークショップ。所蔵作品鑑賞後、美術館アトリエで透明水彩絵具で水彩紙に描画。 (安井曾太郎《宇佐美氏像》など) 『まっ白な紙に・・・』 ★シュレッター絵の具で レリーフづくり 美術館での作品鑑賞と造形ワークショップ。所蔵作品鑑賞後、美術館アトリエでシュレッター絵の具でレリーフの作品制作。 (市原義之《薄雪越冬》など) 『シュレッター絵の具でレリーフづくり』

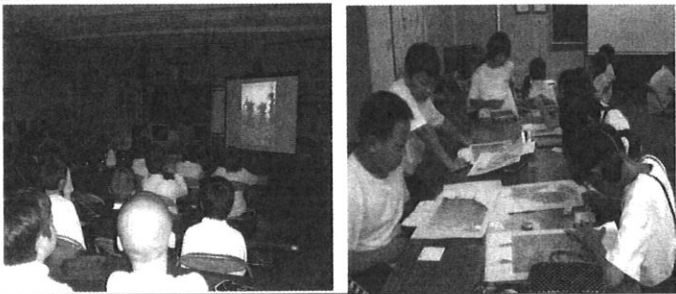
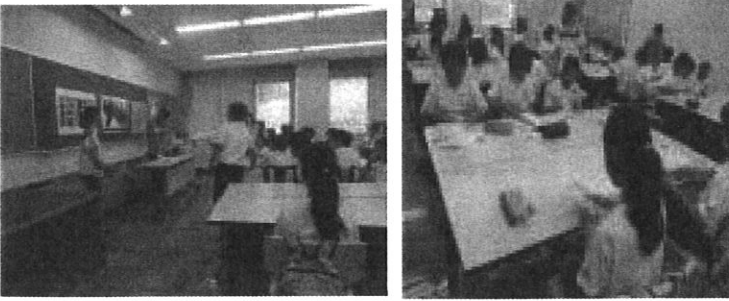
◇1～3は学校と美術館の共同研究グループによって作成された徳島県版オリジナル鑑賞教材(鑑賞シートN0.6, N0.7, N0.11・徳島県立近代美術館発行)を活用した題材である。

小学校 B「鑑賞」の学習内容の系統性

第3学年及び第4学年	
目標及び内容	B 鑑賞 (1) 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。 ア 自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。 イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かること。
共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や、組合せなどの感じをとらえること。 イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。
ワキ ド	・表し方や材料による感じの違い ・自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程など ・よさや面白さを感じ取る
た出 い会 作わ 品せ	・自分たちの作品 ・暮らしの中のデザイン（アニメ・CG・ファッション・建築物など子どもたちを取り巻く様々な文化形態など） ・親しみのある美術作品
題材 例	・アートたんけんたい ・なかまをあつめて！ ・ここには、きっとというよ 『アートたんけんたい』 * 身近な作品、友人の作品のよさや面白さを発見。 『ここにはきっとというよ』
活徳 用島 し県 た立 題近 材代 例美 術 館 所 蔵 作 品 を	★えがきつづけて 作品鑑賞後、鑑賞作家の生き方に触れる。* 道徳と関連（伊原宇三郎《室内風景》など） ★音のかくれんぼ◇1 鑑賞シート「音のかくれんぼ」を用いて、作品から聞こえてくる音をさがしての鑑賞活動。（吹田文明《星を抱くC》など） ★シーがる・たで遊ぼう◇2 鑑賞シート「シーがる・たで遊ぼう」を用いて、作品を基にかかるたの読み札をつくる活動を通して作品鑑賞を行う。（ジョージ・シーガル《ベンチに座るサングラスの女》） 『音のかくれんぼ』 『えがきつづけて』 『シーがる・たで遊ぼう』

◇1～3は学校と美術館の共同研究グループによって作成された徳島県版オリジナル鑑賞教材（鑑賞シートN0.6, N0.7, N0.11・徳島県立近代美術館発行）を活用した題材である。

小学校 B「鑑賞」の学習内容の系統性

第5学年及び第6学年	
目 標 及 び 内 容 共 通 事 項	B 鑑賞 (1) 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。 ア 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取ること。 イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること。 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きの造形的な特徴をとらえること。 イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。
フキ ー ド	・表し方の変化、表現の意図や特徴 ・我が国や諸外国の親しみある美術、暮らしの中の作品 ・よさや美しさを感じ取ること
た出 い会 作わ 品せ	・自分たちの作品 ・デザインされた暮らしの中の造形品（標識サイン・広告・伝統的な人形や衣服・職人の手による生活用品など） ・造形的に構成された環境（造園・ネオンサイン・パブリックアートなど） ・我が国や諸外国の親しみのある美術作品
題 材 例	・不思議な絵 ・表現にこめた思い ・アートレポーターになって ・味わってみよう、日本の美術 『アートレポーターになって』 
活徳 用島 し県 た立 題近 材代 例美 術館 所蔵 作品 を	★墨に親しむ 「特別展 墨と紙が生み出す美の世界」の見学後、美術館アトリエで墨を使った活動を行う。 (大栗旌きん《山寺夕靄》など) 『 墨に親しむ 』  ★絵の本をつくろう◇3 所蔵作品鑑賞後、鑑賞シート「絵の本をつくろう」を用いて、作品を組み合わせ、物語をつくり、本にする活動を行った。 (元永定正《あいんしゅたいん》《ふにやらくにやら》など)  『 絵の本をつくろう 』

◇1～3は学校と美術館の共同研究グループによって作成された徳島県版オリジナル鑑賞教材（鑑賞シートN0.6、N0.7、N0.11・徳島県立近代美術館発行）を活用した題材である。

〈メモ〉

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

中学校 美術科学習内容の系統表

〔中学校テーマ〕

「生活に息づく美術教育 ～感動・創造・発信～」

○中学校テーマと学習内容系統性との関連

生徒は、生活や社会など自らを取り巻く環境や体験・経験の中で、知識や技能を身に付けるとともに、感性を高めていく。そして、それらを基盤としながら、造形活動を通して、自らの思いや願い、考えを「表現内容」「表現材料」「表現方法」とかかわり、自分らしい表現を積み重ねていくのである。

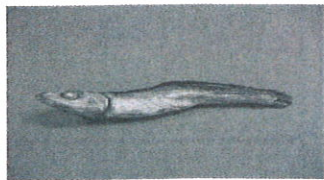
中学生では、様々な造形活動の中で自己の内面を見つめたり、生活や社会での美術の役割を汲み取ったりして、表現することができるようになる。また、試行錯誤し、微妙なバランスにこだわり創作しようとする。そこで、生徒が、自らの価値観をもって、主体的に表現するために、それぞれの発達段階に応じて、育成したい力や様々なかかわりを明確にするとともに、小学校図画・工作科での既習学習や高校へのつながりなど、幼・小・中・高の系統性を考慮し、効果的な指導の充実を目指したいと考え、系統性一覧表を作成した。

○系統性一覧表の作成について

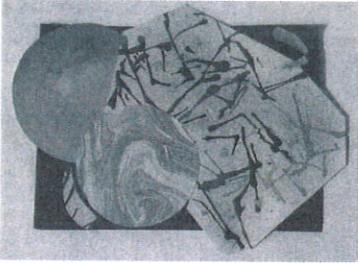
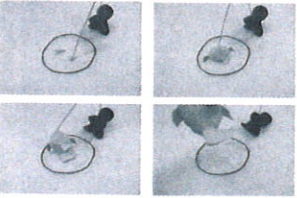
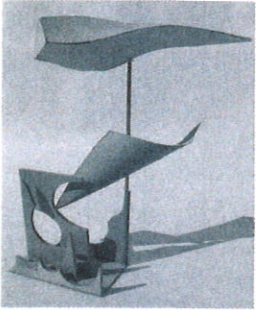
中学校美術科の学習内容一覧表では、「A表現(1)(3)」絵画・彫刻、「A表現(2)(3)」デザイン・工芸、「B鑑賞」について、「目標及び内容」やそれらのキーワードを示すとともに、「表現材料」「表現方法」「用具の扱い方」や「生徒と出会わせたい作品」などを整理し、題材例を提示した。「A表現」では、様々な材料や用具の扱い方を示しているが、小学校の経験やこれまでの学習での体験を生かし、自分の表現意図に適した材料・用具を扱う力をつけたり、必要に応じて、特殊な道具の使い方を習得したりすることを配慮したい。また、「B鑑賞」では、作家作品を多数示したが、これらは網羅的に取り上げるというのではない。生徒の興味・関心を考慮して鑑賞作品を選定したり、同じテーマの作品を複数取り上げたりして指導の工夫をする必要がある。また、地域作家や美術館との連携や表現活動との関連性も重視し、作成している。

今回、系統性一覧表作成に当たっては、全ての園・校種が協働して行った。それぞれの園・校種の日頃の実践に触れ、互いの活動について理解が深められるとともに、造形教育研究大会の意義を再認識することができた。そして、本研究を契機に、さらに生徒の学びが高まることを期待する。

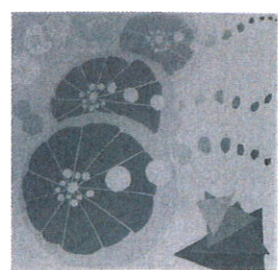
中学校 「A 表現」(1)(3) 「絵画・彫刻」の学習内容の系統性

1学年	
目標及び内容	(1) 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。 ア 対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出すこと。 イ 主題などを基に、全体と部分との関係などを考えて創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 (3) 発想や構想したことなどを基に表現する活動を通して、技能に関する次の事項を指導する。 ア 形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現すること。 イ 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表現すること。
共通事項	(i) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。 イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。
キーワード	○ 主題を生み出す ○ 対象の形や色の特徴・美しさ ○ 全体と部分の関係性
表現材料	画用紙、鉛筆、色鉛筆、パステル、コンテ、墨、各種ペン、水彩絵の具、アクリル絵の具、板、加工粘土、カーボン紙、版画用紙、版木、彫刻刀、版画インク、ばれん、版画プレス機、木、石けん、バルサ材、発砲スチロール、軟石、粘土べら、粘土板、回転台、のこぎり、金づち、木づち、彫刻刀、石ころ、流木、ボンド、ホットボンド、コンピュータ、デジタルカメラ、プリンタ
表現方法	スケッチ、クロッキー、デッサン、透明描法、不透明描法、混色と重色、厚塗り、薄塗り、点描、ドライブラシ、一点透視図法、二点透視図法、空気遠近法、色による遠近法、版画（凸版）、水墨画の調墨、運筆、粘土クロッキー、塑造（モデリング）、彫造（カービング）
用具の扱い方	・鉛筆の使い方 ・パステル・コンテ・クレヨンの使い方 ・水彩絵の具・アクリル絵の具の使い方 ・筆・パレット・筆洗の使い方 ・スケッチブック・画用紙の使い方 ・彫刻刀の使い方 ・プレス機、ばれん等の使い方 ・のみの使い方 ・のこぎりの使い方 ・ペンチの使い方 ・粘土の扱い方 ・粘土板、粘土へら等の使い方 ・石膏の扱い方
題材例	『気軽に楽しくスケッチしよう』 〈表現材料〉 画用紙、鉛筆、水彩、絵の具 〈表現方法〉 スケッチ 〈用具の扱い方〉 鉛筆や水彩絵具の使い方  『いつも ありがとう』 『身近な人への思いを表わそう』 〈表現材料〉 画用紙、鉛筆 〈表現方法〉 デッサン 〈用具の扱い方〉 鉛筆の使い方  『親友』 『不思議な生き物』 〈表現材料〉 石粉粘土、絵の具 〈表現方法〉 塑像（モデリング） 〈用具の扱い方〉 へらの扱い方 絵の具の塗り方  『トラリンペット』 『そっくりにつくろう』 〈表現材料〉 石粉粘土、絵の具 〈表現方法〉 塑像（モデリング） 〈用具の扱い方〉 へらの扱い方 絵の具の塗り方  『めざし』

中学校 「A 表現」(1)(3)「絵画・彫刻」の学習内容の系統性

2・3 学年	
目標及び内容	(1) 感じ取ったことや考えたことを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。 ア 対象を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと。 イ 主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること。 (3) 発想や構想したことなどを基に表現する活動を通して、技能に関する次の事項を指導する。 ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。 イ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること。
共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること
キーワード	○ 主題を生み出す ○ 感じ取ったこと、考えたこと、夢、創造や感情などの心の世界 ○ 単純化や省略、強調、材料の組み合わせ
表現材料	画用紙、キャンバス、和紙、鉛筆、色鉛筆、パステル、コンテ、墨、各種ペン、水彩絵の具、アクリル絵の具、筆、刷毛、ローラー、カーボン紙、版画用紙、版木、彫刻刀、版画インク、ばれん、版画プレス機、ニードル、加工粘土、木、石けん、バルサ材、発砲スチロール、軟石、粘土べら、彫刻刀、石ころ、流木、ボルト、ナット、アルミホイール、ワッシャー、アルミ缶、タイル、廃材、ボンド、ホットボンド、写真素材、コンピュータ、デジタルカメラ、プリンタ、カッターナイフ、カッティングマット
表現方法	主調色、抽象表現、単純化、省略、強調、コントラストやアクセント、タッチの工夫、コンピュータグラフィックス、表現技法（マブリング、スパッタリング、デカルコマニー、コラージュ、ドリップング、フロッタージュ、スタンピング、にじみ、たらしこみ）、水墨画、版画（凹版、孔版）、版画（多色刷り）、ボックスアート、レリーフ、インスタレーション、環境彫刻、切り絵、和紙絵
用具の扱い方	・コンピュータ・グラフィックソフト等の使い方 ・ニードルの使い方 ・紙・木・粘土 ・石・金属の扱い方 ・自然物の扱い方 ・人工物の扱い方 ・針金の扱い方 ・墨の扱い方 ・接着剤の使い方
題材例	『音楽を表現しよう』 〈表現材料〉 色画用紙、画用紙、水彩絵の具 〈表現方法〉 ドリップング等の表現技法、コラージュ 〈用具の扱い方〉 水彩絵の具の使い方  『ジュピターより：生まれ出るもの』 『15歳の自画像』 〈表現材料〉 アクリル絵の具、キャンバス、モデリングペースト 〈表現方法〉 混色、重色、タッチの工夫 〈用具の扱い方〉 アクリル絵の具の使い方  『受験生』 『アニメーションをつくろう』 〈表現材料〉 カラー粘土、針金、デジタルカメラ 〈表現方法〉 モデリング 〈用具の扱い方〉 コンピュータグラフィックス 〈用具の扱い方〉 コンピュータの使い方  『大漁』 『ふるさとへの思いを立体で表現しよう』 〈表現材料〉 紙・木材・針金・粘土、廃材、アクリル絵の具 〈表現方法〉 環境彫刻 〈用具の扱い方〉 接着剤の使い方、紙の扱い方  『街に渡る風と光と』

中学校 「A 表現」(2)(3) 「デザイン・工芸」の学習内容の系統性

1学年	
目標及び内容	(2) 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。 ア 目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ること。 イ 他者の立場に立って、伝えたい内容について分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。 ウ 用途や機能、使用する者の気持ち、材料などから美しさなどを考え、表現の構想を練ること。 (3) 発想や構想したことなどを基に表現する活動を通して、技能に関する次の事項を指導する。 ア 形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具に生かし方などを考え、創意工夫して表現すること。 イ 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表現すること。
共通事項	(i) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。 イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。
キーワード	○ 目的や条件 ○ 構成や装飾、わかりやすく伝える ○ 用途や機能、使用者の気持ち、材料などの美しさを考える
表現材料	ポスターカラー、アクリル絵の具、鉛筆、色鉛筆、コンテ、パステル、マジック、インク、コンピュータ、LED、画用紙、ケント紙、和紙、色画用紙、イラストボード、パネル、色紙、セロハン、厚紙、工作用紙木材（スギ、ラワン、ほう、桂）、粘土（テラコッタ、楽、信楽など）、アクリル、プラスチック、コルクボード、ウッドシート、廃材（流木、石、キャップ、容器など） 糊薬、染料、ニス、ウレタン、ワックス、木ロウ、木彫カラー、ペンキ
表現方法	（知識） 色の3属性、色の3原色、光の3原色、補色、色の寒暖、色の軽重、構成美の要素、類似と対照の配色、伝統工芸、焼き物の工程、焼き物の種類、木目と彫り、木彫の種類、 （方法・技法） デザイン化、画面構成、配色、レタリング、マーク、絵文字、写真、CG、マンガ、彫りの種類（片切り彫り、浮き彫り、石目彫り、やげん彫り）、粘土の成型法（板づくり、ろくろづくり、ひもづくり）、土練り（菊練り）
用具の扱い方	ポスターカラーやアクリル絵の具の使い方（パレットの使い方、筆の使い方、水入れの使い方、マスキングテープの使い方、みぞ引きの仕方）、デジタルカメラの使い方、アプリケーションソフトの使い方、水張りの仕方、接着剤（ふのり、エポキシ系、樹脂系）の扱い方、彫刻刀の使い方、彫刻板の使い方、刷毛の扱い方、シンナー類の扱い方、紙やすりの使い方、のこぎり（電動糸のこ、糸のこ）の使い方、かんな・へらの使い方、粘土の扱い方
題材例	『漢字の感じをあらわそう ー絵文字ー』 〈表現材料〉 ケント紙、 ポスターカラー 〈表現方法〉 絵文字、デザイン化 〈用具の扱い方〉 ポスターカラーの使い方 
	『生活に役立つ物をつくろう ー焼き物の楽しみー』 〈表現材料〉 信楽粘土、青磁釉 〈表現方法〉 ひもづくり、板づくり 〈用具の扱い方〉 粘土の扱い方、 かんな・へらの使い方 
	『木彫パズルをつくろう ー遊び心をかたちにー』 〈表現材料〉 板材、ニス 〈表現方法〉 デザイン化、 木彫の種類 〈用具の扱い方〉 電動糸鋸、電動ドリルの 扱い方、彫刻刀、 紙やすりの使い方、 ニスの使い方 
	『立体的で美しい構成 ー自然物のデザイン化ー』 〈表現材料〉 ポスターカラー、 イラストボード 〈表現方法〉 構成美の要素、デザイン化、 色の性質・配色 〈用具の扱い方〉 ポスターカラーの使い方 

中学校 「A 表現」(2)(3)「デザイン・工芸」の学習内容の系統性

2・3 学年	
目標及び内容	(2) 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。 ア 目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて形や色彩、図柄、材料、光などの組み合わせを簡潔にしたり総合化したりするなどして構成や装飾を考え、表現の構想を練ること。 イ 伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。 ウ 使用する者の気持ちや機能、夢や想像、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。 (3) 発想や構想したことなどを基に表現する活動を通して、技能に関する次の事項を指導する。 ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。 イ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもつて表現すること。
共通事項	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解する。 イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。
キーワード	○ 目的や条件 ○ 形や色彩の効果 ○ 使用者の気持ちや機能、夢や想像、美しさなどを総合的に考える
表現材料	ポスターカラー、アクリル絵の具、色鉛筆、ペン、インク、パステル、コンテ、布、色紙、コンピュータ、LED、画用紙、色画用紙、ケント紙、イラストボード、和紙、工作用紙、スクリーントーン、カーボン紙、トレーシングペーパー、ビデオカメラ、デジタルカメラ、スキャナー、プリンター、木材、金属（アルミ、銅、真鍮、合金メタル、針金など）、漆、皮革、石（高麗石、黒曜石、蠟石など）、自然物（流木、石、枯葉など）、人工物（ビン、充填材、包装紙、ひも類など）、紙粘土、樹脂粘土
表現方法	（知識） 色の進出・後退、色の対比、色の膨張・収縮、色の意味・感情、モダンテクニック、デザインの分類（工業デザイン、環境デザイン、視覚伝達デザイン）、日本の伝統色 （方法・技法） 錯視、反転図形、不可能図形、透視・投影図法、CG、マンガ、アニメーション（ゾートロープ、フェナキストスコープ、フリップブック）、金属の成形（鍛金、彫金、鋳金）、印の種類（朱文、白文）
用具の扱い方	ビデオの使い方、スキャナの使い方、レイヤー機能の使い方、フィルタ機能の使い方、アプリケーションソフトの使い方、トレーシングペーパーの使い方、カーボン紙の使い方、金属ヤスリ・耐水ペーパーの使い方、研磨材の使い方、ガスコンロ・ガスバーナーの使い方、金きりばさみの使い方、タガネの使い方、つち（金づち、木づちなど）の使い方、薬品（酸、腐蝕液など）の使い方、やっこの使い方、金床の使い方
題材例	『学校のCMをつくろう』 〈表現材料〉 ケント紙、ポスターカラー、デジカメ、スキャナ、PC 〈表現方法〉 イラストレーション、レタリング、アニメーション 〈用具の扱い方〉 ポスターカラー・色鉛筆・スキャナ、レイヤー機能の使い方  『鑄金キーホルダー』 〈表現材料〉 合金メタル、ボール紙、コルク板 〈表現方法〉 型の切りぬき、鋳金 〈用具の扱い方〉 カッター・るつぼの使い方  『ポスターで伝えよう』 〈表現材料〉 画用紙、ポスターカラー、トレーシングペーパー、マスキングテープ 〈表現方法〉 レタリング、彩色 〈用具の扱い方〉 ポスターカラー、筆の使い方、マスキングの仕方、トレースの仕方  『灯りの造形』 〈表現材料〉 樹脂粘土、ポスターカラー、LEDランプ 〈表現方法〉 手びねり、板づくり 〈用具の扱い方〉 粘土の成形法 

中学校 「B鑑賞」 「鑑賞」の学習内容の系統性

1 学年	
目標及び内容共通事項	(1) 美術作品のよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する。 ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や考え方を広げること。 イ 身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高めること。 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること
キーワード	○ 造形的なよさや美しさを感じ取る ○ 見方、感じ方を広げる ○ 美術文化への関心 ○ 思いや考えを説明し合う
出会わせたい作品	○ 生徒作品 ○ 作家作品(日本や諸外国の作品)【例：日本：縄文火焔土器、弥勒菩薩半跏思惟像、阿修羅像、奈良の大仏、東大寺金剛力士像、三十三間堂千手観音像、平等院鳳凰堂阿彌陀如来座像、鳥獣人物戯画、信貴山縁起絵巻、源氏物語絵巻、雪舟「秋冬山水図」、狩野永徳「檜図屏風」、長谷川等伯「松林図屏風」、俵屋宗達「風神雷神図屏風」、尾形光琳「紅白梅図屏風」「杜若図屏風」「八橋蒔絵螺鈿硯箱」、(浮世絵)葛飾北斎「富嶽三十六景」、喜多川歌麿「ポッピンを吹く女」、歌川広重「東海道五十三次」、伊藤若冲「群鶏図」、高橋由一「鮭」、黒田清輝「湖畔」、青木繁「海の幸」、安井曾太郎「金蓉」、高村光太郎「手」、小磯良平「斉唱」、上村松園「序の舞」、横山大観「生々流転」「富嶽飛翔」、佐伯祐三「郵便配達夫」、岡本太郎「太陽の塔」「明日の神話」、棟方志功「釈迦十大弟子」、イサム・ノグチ「ブラッド・スライド・マントラ」、佐藤忠良「若い女の像」、東山魁夷「道」「白馬の森」、絹谷幸二「長野オリンピック公式ポスター」「アンジェラと蒼い空Ⅱ」、片岡球子「富士山」シリーズ、千住博「ウォーター・フオール」、船越桂「支えられた記憶」、手塚治虫「鉄腕アトム」「火の鳥」。宮崎駿「もののけ姫」「千と千尋の神隠し」】【諸外国：ラスコーの壁画、ツタンカーメンの黄金のマスク、パルテノン神殿、ミロのヴィーナス、アンコールワット、(ルネサンス)レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」「最後の晚餐」ミケランジェロ「ピエタ」「ダヴィデ像」、ラファエロ「仔椅子の聖母」「アテネの学堂」、ボッティチェリ「ビーナスの誕生」「春・プリマヴェーラ」、パリ大聖堂、ベルサイユ宮殿、フェルメール「真珠の首飾りの少女」「牛乳を注ぐ女」、レンブラント「自画像」「夜景」、ダヴィット「皇帝ナポレオンと皇妃ジョゼフィーヌの戴冠」ベラスケス「ラス・メニーナス」、ターナー「雨・蒸気・速度」、ミレー「落ち穂拾い」、(印象派)ゴッホ「自画像」「ひまわり」、ルノアール「花々に寄せる詩歌」、モネ「睡蓮」「印象・日の出」、セザンヌ「リンゴとオレンジ」、スーラ「グランド・ジャット島の日曜日の午後」、クリムト「接吻」、ムンク「叫び」、ロダン「考える人」、(アール・ヌーヴォー)エミール・ガレ、ガウディ「サグラダ・ファミリア」、(フォービズム)マティス「ダンスⅡ」、(キュビズム)ピカソ「泣く女」「ゲルニカ」、(超現実主義)ダリ「記憶の固執」シャガール「私と村」、マグリット「大家族」、エッシャー「物見の塔」、モンドリアン「ブロードウェイ・ブギウギ」、デュシャン「泉」、(ポップ・アート)アンディー・ウォーホル「キャンベル・スープ缶」「マリリン」、ステラ「恐れ知らずの愚か者」】 ○ 地域に伝わる作品・文化【例：藍染(例：藍染(染色)、大谷焼(陶芸)、四国八十八か所(絵画・彫刻・工芸・建築等)、阿波踊り(舞台・衣装)、阿波和紙、阿波人形教瑠璃、遊山箱】 ○ 地域作家作品【日下八光(日本画)、三宅克己(水彩画)、井原宇三郎(油彩画)、清原重孝知(油彩画)、山下菊二(油彩画)、板東文夫(彫刻)、吹田文明(版画)、竹宮恵子(漫画)、三好和義(写真)】 ○ 美術館所蔵作品、特別展(出前授業、ギャラリートークなど)【徳島県立近代美術館：ピカソ「ドラ・マールの肖像」、メッツァンジェ「自転車乗り」、クレー「子供と伯母」、ムーア「着衣の横たわる母と子」、シーガル「ベンチに座るサングラスの女」、大塚国際美術館：ミケランジェロ「最後の審判」「天地創造」、スクロヴェーニ礼拝堂、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」修復前後、モネ「大睡蓮」相生森林美術館】 ○ 生活や社会に生きる美術【視覚伝達：ポスター、映画・テレビ番組、CM、ホームページ、演劇舞台、装丁、パッケージ】【工業デザイン：乗り物、電化製品、家具、食器、衣服、文具・雑貨】【環境デザイン：建築、インテリアデザイン、イルミネーション、都市・街並みデザイン】、[伝統工芸：染色(のれん、着物)、和紙・竹細工(扇子、うちわ、箆)、ガラス・切り子細工・陶器(抹茶茶碗、徳利、お猪口)、木彫・漆器・螺鈿細工(硯箱、箸、おぼん、文箱)】
題材例	  『思いを表わそう～立体の世界～』 ・ 高村光太郎の作品の造形的な工夫や作者の言葉・詩などから思いを考えよう。 ・ 手の特徴をとらえたとともに、自分の思いを表現しよう。  『900年前のアニメーション ～鳥獣人物戯画～』 ・ 作品に描かれているものや内容について友だちと語り合ってみよう ・ 絵巻物の様式や墨の表現について理解しよさや美しさを味わってみよう  『アートカルタをつくろう』 ・ 日本や諸外国の作品(教科書や画集など)をもとにカルタの読み札をつくろう。 ・ 作品について気付いたことを語り合ったり、読み札について説明したりしよう。

中学校 「B鑑賞」 「鑑賞」の学習内容の系統性

2・3 学年	
目標及び内容	(1)美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する。 ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。 イ 美術作品などに取り入れられている自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解すること。 ウ 日本の美術の概要的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさなどを味わい、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。
	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること
共通事項	○ 本質的なよさや美しさを感じ取る ○ 理解、見方を深める ○ 美術文化の継承と創造への関心 ○ 生活を美しく豊かにする美術の働きへの理解 ○ 自分の価値意識をもって批評し合う
キーワード	○ 生徒作品 ○ 作家作品(日本や諸外国の作品)【例：日本：縄文火焔土器、弥勒菩薩半跏思惟像、阿修羅像、奈良の大仏、東大寺金剛力士像、三十三間堂千手観音像、平等院鳳凰堂阿彌陀如来座像、鳥獣人物戯画、信貴山縁起絵巻、源氏物語絵巻、雪舟「秋冬山水図」、狩野永徳「檜図屏風」、長谷川等伯「松林図屏風」、俵屋宗達「風神雷神図屏風」、尾形光琳「紅白梅図屏風」「杜若図屏風」「八橋蒔絵螺鈿硯箱」、(浮世絵)葛飾北斎「富嶽三十六景」、喜多川歌麿「ポッピンを吹く女」、歌川広重「東海道五十三次」、伊藤若冲「群鶏図」、高橋由一「鮭」、黒田清輝「湖畔」、青木繁「海の幸」、安井曾太郎「金蓉」、高村光太郎「手」、小磯良平「斉唱」、上村松園「序の舞」、横山大観「生々流転」「富嶽飛翔」、佐伯祐三「郵便配達夫」、岡本太郎「太陽の塔」「明日の神話」、棟方志功「釈迦十大弟子」、イサム・ノグチ「ブラッド・スライド・マントラ」、佐藤忠良「若い女の像」、東山魁夷「道」「白馬の森」、絹谷幸二「長野オリンピック公式ポスター」「アンジェラと蒼い空Ⅱ」、片岡球子「富士山」シリーズ、千住博「ウォーター・フォール」、船越桂「支えられた記憶」、手塚治虫「鉄腕アトム」「火の鳥」、宮崎駿「もののけ姫」「千と千尋の神隠し」】諸外国：ラスコーの壁画、ツタンカーメンの黄金のマスク、パルテノン神殿、ミロのヴィーナス、アンコールワット、(ルネサンス)レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」「最後の晩餐」ミケランジェロ「ピエタ」「ダヴィデ像」、ラファエロ「椅子の聖母」「アテネの学堂」、ボッティチェリ「ビーナスの誕生」「春・プリマヴェーラ」、バリエ大聖堂、ベルサイユ宮殿、フェルメール「真珠の首飾りの少女」「牛乳を注ぐ女」、レンブラント「自画像」「夜景」、ダヴィッド「皇帝ナポレオンと皇妃ジョゼフィーヌの戴冠」、ベラスケス「ラス・メニーナス」、ターナー「雨・蒸気・速度」、ミレー「落ち穂拾い」、(印象派)ゴッホ「自画像」「ひまわり」、ルノアール「花々に寄せる詩歌」、モネ「睡蓮」「印象・日の出」、セザンヌ「リンゴとオレンジ」、スーラ「グランド・ジャット島の日曜日の午後」、クリムト「接吻」、ムンク「叫び」、ロダン「考える人」、(アール・ヌーヴォー)エミール・ガレ、ガウディ「サグラダ・ファミリア」、(フォービズム)マティス「ダンスⅡ」、(キュビズム)ピカソ「泣く女」「ゲルニカ」、(超現実主義)ダリ「記憶の固執」シャガール「私と村」、マグリット「大家族」、エッシャー「物見の塔」、モンドリアン「ブロードウェイ・ブギウギ」、デュシャン「泉」、(ポップ・アート)アンディー・ウォーホル「キャンベル・スープ缶」「マリリン」、ステラ「恐れ知らずの愚か者」】
出会わせたい作品	○ 地域に伝わる作品・文化【例：藍染(例：藍染(染色)、大谷焼(陶芸)、四国八十八か所(絵画・彫刻・工芸・建築等)、阿波踊り(舞台・衣装)、阿波和紙、阿波人形教瑠璃、遊山箱】 ○ 地域作家作品【日下八光(日本画)、三宅克己(水彩画)、井原宇三郎(油彩画)、清原重吉(油彩画)、山下菊二(油彩画)、板東文夫(彫刻)、吹田文明(版画)、竹宮恵子(漫画)、三好和義(写真)】『ワグチ (阿波や史跡)』 ○ 美術館所蔵作品、特別展(出前授業、ギャラリートークなど)【徳島県立近代美術館：ピカソ「ドラ・マールの肖像」、メッツァンジェ「自転車乗り」、クレール「子供と伯母」、ムーア「着衣の横たわる母と子」、シーガル「ベンチに座るサングラスの女」、大塚国際美術館：ミケランジェロ「最後の審判」「天地創造」、スクロヴェーニ礼拝堂、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」修復前後、モネ「大睡蓮」相生森林美術館】 ○ 生活や社会に生きる美術【視覚伝達：ポスター、映画・テレビ番組、CM、ホームページ、演劇舞台、装丁、パッケージ】、【工業デザイン：乗り物、電化製品、家具、食器、衣服、文具・雑貨】、【環境デザイン：建築、インテリアデザイン、イルミネーション、都市・街並みデザイン】、【伝統工芸：染色(のれん、着物)、和紙・竹細工(扇子、うちわ、箆)、ガラス・切り子細工・陶器(抹茶茶碗、徳利、お猪口)、木彫・漆器・螺鈿細工(硯箱、箸、おぼん、文箱)】
	『わたしは学芸員 ～美術展のリーフレットをつくらう～』 ・ 美術展のテーマを考え、作品を選んで、リーフレットをつくらう。 ・ 作品の共通点や相違点、造形的な特徴や作品の背景など感じたことや考えたことを紹介しよう
題材例	『パロディー模写をしよう』 ・ 作品について感じたこと考えたことを基に、パロディー模写をしてみよう。 ・ 作品のよさや美しさとともに、時代背景や作家など調べてみよう。
	『お気に入りのポストカードを飾ろう』 ・ 作品の内容やよさ、工夫点などのついて感じたことや考えたことを話し合ってみよう。 ・ 作品の形や色などの特徴や作家の意図などを推測し、カードと額の調和を考慮してつくらう。

This image shows a full page of primary-ruled paper. It features multiple sets of horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for handwriting practice. The lines are light gray and extend across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

高等学校 美術科学習内容の系統表

〔高等学校部会テーマ〕

「生涯を彩る美術教育 ～つなげていく力～」

○高等学校のテーマと学習内容系統性との関連

生涯を豊かに彩るためには、子どもの発達段階に応じた専門的な造形学習を継続的に行う必要があり、生徒一人ひとりが美的体験を通して芸術を愛好する心情を育てることが大切である。

- ・ 表現と鑑賞の活動を通して生徒の主体的な造形活動を促し、指導と評価の一体化を図った授業改善をする。
- ・ これまでの学習を踏まえた上で、より美術の楽しさや創造の喜びを味わえるよう系統性を考慮した指導計画を作成する。
- ・ 美術の創造活動にかかわる様々な能力を身に付けさせるとともに、地域の文化や伝統産業などつながりが深い題材を開発し、指導方法を工夫する。

高校においては、以上のことを指導上のテーマとし、「生涯を彩る」ことにつなげていけるような美術教育に取り組んでいきたいと考えている。

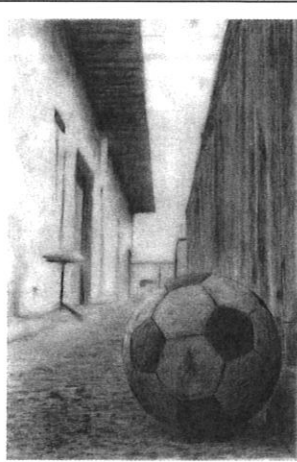
高等学校美術Ⅰ「絵画・彫刻」の学習内容の系統性

美術Ⅰ	
目標及び内容	ア 感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること。 イ 表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練ること。 ウ 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。 エ 表現方法を工夫し、主題を追求して表現すること。
キーワード	○主題の生成 ○形体、色彩、構成などの工夫 ○創造的な表現の構想 ○材料や用具の特性を生かす ○表現方法の工夫
表現材料	画用紙、色画用紙、ボール紙、包装紙、新聞紙、ケント紙、カラーフィルム、鉛筆、色鉛筆、墨、ボールペン、インク、筆、印刷用インキ、ペン、竹ペン、水彩絵の具、ポスターカラー、接着剤、水性塗料、油性塗料、アクリル絵の具、油絵の具、溶油、木版、銅版、アルミ板、シルクスクリーン、スチロール、スチレンボード、石膏、石、粘土、油粘土、竹、ラワン木（流木も含む）、合成樹脂、布、針金、銅線、アルミ線、釘、ねじなど
表現方法	（知識）空気遠近法、線遠近法（一点・二点透視図法）、色彩遠近法、版画（凸版、凹版、平版の表現）、テラコッタ、彫造と塑造の違いなど （技法）スケッチの仕方、水彩（透明色）の技法、ポスターカラー（不透明色）の技法、アクリル画の技法（おつゆ・厚塗り）、油彩画の技法（点描・おつゆ・グリザイユ・重色・混色・筆毛の質とタッチの違い・ペインティングナイフによる表現）、水墨画の技法（濃淡と墨色・運筆とにじみ・かすれ）、丸彫り、レリーフなど
用具の扱い方	鉛筆の使い方、木炭紙・画用紙の扱い方、木炭・コンテ・クレヨンの使い方、パステルと定着のさせ方、水彩絵の具・筆・パレット・布地の使い方、油彩画のキャンバス・基底材・絵の具、筆、パレット、溶油の扱いと使い方、アクリル画の絵の具・筆・パレット・モデリングペースト等の扱いと使い方、彫刻刀の使い方、プレス機ばれん等の使い方、銅版画の用具の使い方、のこぎり・かんな・ドリルの使い方、接着剤の扱い方、粘土の扱い方、心棒と針金・シュロ縄の使い方、石膏取りの仕方と用具の扱い方、ヘラ、のみと金槌の扱い方、刃物と砥石の扱い方など
題材例	 『顔』 <材料>写真 <方法>点描 <用具>水性ボールペンの扱い方   『見て描く』 <材料>顔料、膠 <方法>日本画 <用具>日本画用具の扱い方  『石を彫ろう』 <材料>石、ノミ <方法>彫造 <用具>ノミの扱い方  『夢や想像などを基に描く』 <材料>油絵の具、キャンバス <方法>油絵 <用具>油絵の具の扱い方  『廃材を利用して』 <材料>瓶、ステンドホビー <方法>描画 <用具>ステンドホビーの扱い方

高等学校美術Ⅰ「デザイン」の学習内容の系統性

美術Ⅰ	
目標及び内容	ア 目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成すること。 イ 表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練ること。 ウ 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。 エ 表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現すること。
キーワード	○情報を分かりやすく伝達する ○機能と美しさの調和 ○知的、論理的に考えた主題の生成 ○創造的な表現の構想 ○伝える人や使う人の気持ちや行為を考えた表現方法の工夫
表現材料	画用紙、ボール紙、包装紙、新聞紙、ケント紙、パネル、カラーシート、カッティングシート、鉛筆、色鉛筆、インク、筆、ペン、竹ペン、水彩絵の具、ポスターカラー、アクリル絵の具、シルクスクリーン用絵の具、石膏、スチロール、クレイ・紙粘土、布、接着剤など
表現方法	(知識)色の三原色、色料と色光(CMYとRGB)、加色混法、減色混法、色の3属性、色立体、補色・類似色の関係、暖色・寒色、色の対比(明度対比、彩度対比、色相对比)、マンセル表色系、トーン配色など 構成美の要素(変化と統一、バランス、リズム、強調、ハーモニー、シンメトリー、錯覚)、レタリング、書体、スペーシングなど (方法・技法)アイデアスケッチ、デザイン化、レタリング、ポスター、カード、パッケージ等効果(ムーブメント、エレメント)、絞り染め、ろうけつ染めなど
用具の扱い方	水張りの仕方、トレースの方法、ポスターカラーの特性と筆の使い方、サシと溝引き棒の使い方など マーカーの特性と使い方、デザインナイフとカッティングマット、基底材とモデリングペースト、ニスとラッカーなど
題材例	『色の対比』 <材料>アクリルガッシュ、ケント紙 <方法>構成美の要素 <用具>アクリルガッシュの扱い方 『シンボルマークと文字』 <材料>ポスターカラー、ケント紙 <方法>文字のデザイン化 <用具>アクリルガッシュの扱い方 『ポップ広告』 <材料>カラーマーカー、ケント紙 <方法>情報のデザイン化 <用具>マーカーの特性と使い方 『イラストレーション：妖精の棲む場所』 <材料>アクリル絵の具・クレヨン・色鉛筆・イラストレーションボード <方法>発想や構想の視覚化 <用具>様々な画材の扱い方

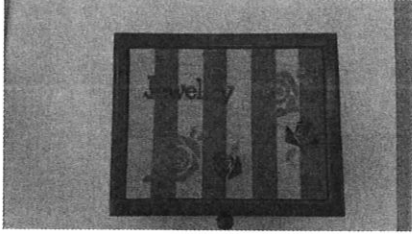
高等学校美術Ⅰ「映像メディア表現」学習内容の系統性

	美術Ⅰ
目標及び内容	ア 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。 イ 色光、視点、動きなどの映像表現の視覚的要素を工夫して表現の構想を練ること。 ウ 意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かすこと。 エ 表現方法をや編集を工夫して表現すること。
キーワード	○目的や機能などを基に、特性を生かす ○主題の生成 ○創造的な表現の構想 ○用具の特性を生かす ○目的や計画を基に表現
表現材料	カメラ印画紙、感光剤、トレーシングペーパー、鉛筆、絵コンテ、デジタルカメラ、ビデオカメラ、パソコン、プロジェクター、イメージスキャナー、ペンタブレット、ソフトクレイなど
表現方法	(知識) 色光 (RGB)、加色混法、デジタルとアナログ、画像のファイル形式、ビットマップ画像とベクトル画像、フォント (書体) について、著作権についてなど (方法・技法) 静止画撮影、(デジタルカメラ、ピンホールカメラ)、ネガとポジ、CG制作、3DCG制作、画像加工、画像の合成、動画撮影、動画の編集、テロップ編集、クレイアニメ、コマ撮りアニメ、モーショングラフィック、ビデオインスタレーションなど
用具の扱い方	カメラ撮影の基本、ビデオカメラ撮影の基本、ズームレンズの使用、三脚の使用、パソコンへの画像取り込み (イメージスキャナーの使い方、記録メディアからの取り込み)、画像編集ソフトの使用方法、動画編集ソフトの使用方法、プロジェクター、プリンターの使用方法、映像メディアへの書き出し (CD、DVD) など
題材例	 『記憶に残る風景』 <材料>デジタルカメラ、トレーシングペーパー、 <方法>画像加工、トレース <用具>デジタルカメラ、鉛筆、パソコンの扱い方 『名画を再現』 <材料>デジタルカメラ <方法>画像の合成 <材料>デジタルカメラ、 パソコンの扱い方   『コマ撮りアニメをつくる』 <材料>ソフトクレイ、ビデオカメラ <方法>静止画撮影、動画編集 <用具>デジタルカメラ、クレイ、パソコンの扱い方

高等学校美術Ⅰ「鑑賞」の学習内容の系統性

美術Ⅰ	
目標及び内容	ア 美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めること。 イ 映像メディア表現の特質や表現の効果などを感じ取り、理解すること。 ウ 自然と美術のかかわり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、理解を深めること。 エ 日本の美術の歴史や表現の特質、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めること。
キーワード	○作者の心情や意図の理解 ○表現の工夫や効果 ○美術文化の理解 ○特質や表現の効果を感じ取る ○心豊かにする美術についての理解
出会わせたい作品	○生徒作品 ○作家作品 「火焰型土器」、「埴輪 踊る人々」、「釈迦三尊像」、「弥勒菩薩半跏思惟像」、「高松塚古墳壁画」、「源氏物語絵巻」、「阿修羅像」、「鳥獣人物戯画」、運慶「金剛力士像」、「片輪車蒔絵螺鈿手箱」、「伝源頼朝像」、「鹿苑寺」、「慈照寺」、雪舟「恵可断臂図」、長次郎「楽茶碗」、狩野永徳「唐獅子図屏風」、「檜図屏風」、長谷川等伯「松林図屏風」、俵屋宗達「風神雷神図屏風」、尾形光琳「紅白梅図屏風」、東洲斎写楽「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」、葛飾北斎「富嶽三十六景、神奈川沖浪裏」、高橋由一「鮭」、黒田清輝「湖畔」「読書」、高村光雲「老猿」、横山大観「無我」、萩原守衛「女」、「坑夫」、岸田劉生「道路と土手と堀」、古賀春江「窓外の化粧」、萬鉄五郎「裸体美人」、亀倉雄策「東京オリンピック」、柳宗理「バタフライスツール」、田中一光「ポスター日本舞踏、UCLA」、永井一正「JAPAN」、倉又史郎「ミス・ブランチ」、安藤忠雄「光の教会」、草間弥生「南瓜」など 「ヴィレンドルフのヴィーナス」、「ラスコーの洞窟壁画」、「パルテノン神殿」、「秦の始皇帝陵兵馬俑」、「ミロのヴィーナス」、「ポンペイの壁画」、「コロッセウム」、「雲崗石窟の大仏」、「ケルズの書」、「シャルトル大聖堂」、「アンコールワット」、ジョット・ディ・ボンドーネ「荘厳の聖母」、サンドロ・ボッティチェリ「ヴィーナスの誕生」、レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」、ラファエロ・サンツィオ「小椅子の聖母」、ピーテル・ブリューゲル「雪中の狩人」、ヨハネス・フェルメール「牛乳を注ぐ女」、ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ「聖女テレジアの法悦」、ディエゴ・ベラスケス「ラス・メニーナス」、「タージ・マハル廟」、ウジェーヌ・ドラクロア「民衆を導く自由の女神」、クロード・モネ「印象一日の出」、フィンセント・ファン・ゴッホ「ひまわり」、ポール・セザンヌ「サント・ヴィクトワール山」、エドワード・マイブリッジ「駆ける馬」、パブロ・ピカソ「ゲルニカ」、マルセル・デュシャン「泉」、ピエト・モンドリアン「赤、黄、青のコンポジション」、マルセル・ブロイヤー「ワシリーチェア」、カッサンドル「ノルマンディ号」、ジャクソン・ポロック「秋のリズム」、アンディ・ウォーホル「マリリン」、ドナルド・ジャット「無題」、エットーレ・ソットサス「カールトン」、「タイプライター」、クリスト&ジャンヌ・クロード「囲まれた島々」、アップル社「タッチ式携帯電話」、ダイソン社「羽根のない扇風機」など
題材例	『作品展の批評会』 ・実際の作品に触れて、その良さを感じとり、互いに意見を交換する。

高等学校工芸Ⅰ「表現と鑑賞」の学習内容の系統性

工 芸 Ⅰ	
目標及び内容	A 表現 (1) 身近な生活と工芸 ア 自然や素材, 身近な生活や自己の思いなどから心豊かな発想をすること。 イ 用途と美しさの調和を考え, 日本の伝統的な表現のよさなどを生かした制作の構想を練ること。 ウ 制作方法を理解し, 意図に応じて材料や用具を活用すること。 エ 手順や技法などを吟味し, 創意工夫して制作すること。 (2) 社会と工芸 ア 社会的な視点に立って, 使う人の願いや心情, 生活環境などを考え, 心豊かな発想をすること。 イ 使用する人や場などに求められる機能と美しさを考え, 制作の構想を練ること。 ウ 制作方法を理解し, 意図に応じて材料や用具を活用すること。 エ 手順や技法などを吟味し, 創意工夫して制作すること。 B 鑑賞 ア 工芸作品のよさや美しさ, 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り, 理解を深めること。 イ 制作過程における工夫や素材の生かし方, 技法などを理解すること。 ウ 自然と工芸のかかわり, 生活や社会を心豊かにする工芸の働きについて考え, 理解を深めること。 エ 日本の工芸の特質や美意識に気付き, 工芸の伝統と文化について理解を深めること。
キーワード	○心豊かな発想 ○用途と美しさの調和 ○創意工夫 ○心豊かにする工芸の理解 ○伝統文化の理解
表現材料	画用紙, ボール紙, ケント紙, 和紙, インク, パステル, 透明水彩絵の具, アクリル絵の具, 低融点合金, 銅板, 鉄板, アルミ板, 針金, 石膏, 粘土, 木, ポリエステル樹脂, 染料, 布など
表現方法	スケッチ, レタリング, パース, モデリング(原型), 石膏成型, キャスティング, 金工(鋳造・鍛造・切削加工), 木工, 染色, パッケージング, 組みひも, ロープワーク, 手びねり, ひも作り, 板作り, 玉作り, 素焼き, 本焼き, 下絵付け, 上絵付けなど
用具の扱い方	鉛筆, パステル, マーカー, 透明水彩等の使い方, 油土, クレイ, 石膏, ロストワックスの使い方, 研磨材, ヤスリ, 鋳造具, 研磨機の使い方, 木材加工の仕方, 染色用具の使い方, しっぴき, 弓引き, へら, たたら板の扱い方など
題材例	 『Jewelry』 <材料>ウッドシート, 木箱 <方法>カッティング <用具>カッターの扱い方  『陶器をつくる』 <材料>粘土, 釉薬 <方法>陶芸 <用具>粘土, ろくろの扱い方  『あかり』 <材料>電球, 台板針金, クレイ, 和紙 <方法>ライティングアート <用具>ペンチ, へら, 絵の具, ボンドの扱い方

[illegible]

小 学 校				中 学 校		高 等 学 校	
第1学年及び第2学年		第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	第1学年	第2学年及び第3学年	第1学年	
造材料 形生活 動基 にした	○ 扱いやすい材料を並べて、組み合わせる。切つてつなぐ、横む。	○ 材料や場所にかかわり、組み合わせる。切つてつなぐ、形を変える。	○ 材料や環境にかかわり、周囲の様子を考え合わせて、構成したり調和させたりする。	A 表現（1）（3）感じ取ったことや考えたことの表現	○ 形や色彩の特徴や美しさなどをとらえ自分なりの方法で、スケッチする。	○ 対象を深く見つけ感じ取ったことや心の世界などを、自分の表現方法を工夫してスケッチする。	○ 形や色彩の特徴を生かして、表現効果を考えた構成を試みる。
	○ 直感的に思いのままに描こうとするものを表現する。（絵）	○ 中心になるものとまわりものの目を向けて表現する。（絵）	○ 対象と各部分の関係をはつきりさせ、主題がよくあらわれるように表現する。（絵）				
絵や立体に表す	○ 身近な材料、扱いやすい用具を選び思いのまじに表現する。（立体）	○ 形や色、材料を生かし、組み合わせの感じや美しさや用途を考え表現する。（立体）	○ 形や色、材料の特徴を生かし、構成の美しさの感じや用途を考え表現する（立体）	創造的な技能	○ 感性、造形感覚や美的感覚などを働かせ、材料や用具を効果的に生かして美しく造形的に表現する。	○ 自分の経験や知識、創造力などを生かし、創意工夫して独創的な表現方法やダイナミックな表現を工夫する。	○ 絵画や彫刻における材料の特性や用具の使い方などを理解し、工夫しながら活用できる。
	○ 扱いやすい材料を手を動かして使うとともに、表し方を考えて表現する。	○ 形や色、材料を生かし、組み合わせの感じや用途を考え表現する。	○ 自分の表現したいことに合わせて、既習の学習を生かし、表現に適した方法を選んで表現する。				
工作に表す	○ 身近な材料、扱いやすい用具を選び材料に応じた接合法で表現する。	○ 身近な材料を削る・つなぐ・組み合わせる・形を変えるなどしたり、材料に応じた接合法を工夫したりして表現する。	○ 材料の特徴を生かした組み合わせ方や用具の使い方加工、接着、着色などを工夫する。	A 表現（2）（3）目的や機能の表現	○ 造形要素を豊かな美的感覚で選び出し、美しく構成したり、デザインする。	○ 日本及び諸外国の独特で美しい表現方法や構成、技法などに関心をもち、そのよさや美しさを表現に生かす。	○ 機器の特性や表現効果・伝達効果を理解し、自己の表現意図に合わせて効果的に表現する。
	○ はさみやカッターナイフなどを正しく使う。	○ カッターナイフ・小刀、金づち、のこぎりなどの用具を適切に扱う。	○ 電動糸のこぎりなどの木工機械やこれまでに経験した用具を安全に使う。				
				創造的な技能		映像メディア表現	
						工芸	
						○ 材料の特性や加工方法を理解し制作に生かす。	
						○ 材料と用具のかかわりを考えて安全で的確な取り扱いができる。	
						○ 制作過程で構想や加工の仕方を工夫し、改善することができる。	

編集者

〔幼稚園〕 久米井明美，東條有希子，原輝子

〔小学校〕 若井ゆかり，日岡健二，美馬智子，加藤由恵，古林賢一，佐々木奏美，武知綾子

〔中学校〕 結城栄子，宮越千佳，岩佐宣之，坂本和生，鈴江芳美，新居由香，鳥澤和佳，
小浜かおり，内藤美也子，天狗石みゆき

〔高 校〕 林伸也，三原宏和，中田敏之，稲岡崇代，清水愛美

〔第28回四国造形教育研究大会(徳島大会)研究推進部〕